

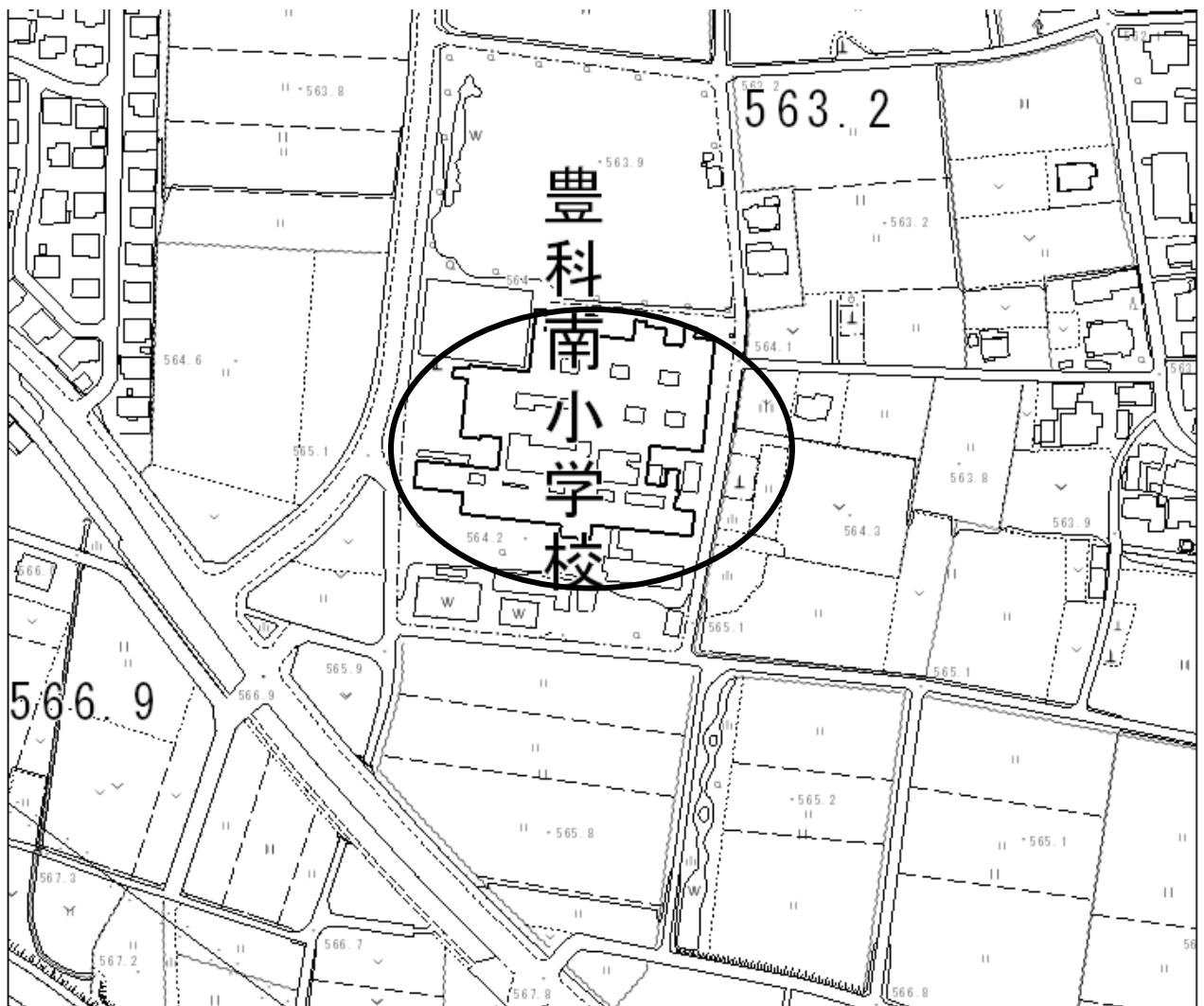
工 事 名		令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)										金抜設計書		
施 工 箇 所		安曇野市 豊科南小学校												
設 計 概 要							施 工 方 法			請 負				
南校舎棟のトイレ施設の全面改修(Ⅱ期) ・1、2階児童用男女トイレ ：内装・設備機器及び設備配管共全面改修							施 工 期 間			契約日～令和5年10月16日				
							担当課			学校教育課 学校庶務担当				
							工事担当課			財産管理課 施設経営担当				
							契約保証方法			金銭的保証				
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。							

令和4年度（明許繰越）

豊科南小学校南校舎トイレ改修工事（Ⅱ期）

1. 期間 契約日 から 令和5年10月16日まで
2. 内容 南校舎男女混合トイレの改修工事（洋式化）

位置図



No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
令和4年度(明許繰越) 豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)							
I	共通仮設工事	率共通費+積上共通仮設分	1.0	式			
II	直接工事費	建築・電気設備・機械設備改修	1.0	式			
	純工事費 計						
IV	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
V	一般管理費		1.0	式			
	工事価格 計						
	消 費 税		1.0	式			
	工事費 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
I	共通仮設工事						
I-1	(率仮設分)						
	仮設建物	現場事務所	┌				
	仮設建物	管理事務所	├				
	仮設建物	トイレユニット	├				
	工事用用水電力		├				
	機械器具損料		└ 1.0	式			
	安全管理費		├				
	各種試験費		├				
	工事管理写真費		├				
	整理清掃	全般的な物	└				
	I-1(率仮設分) - 計						
I-2	共通仮設費(積上計上)						
	(1期工事専用積上仮設)						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	仮囲い(養生ネット)	ガードフェンスH1800(扉共) 存置1ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	38.0	m			
	仮囲い(簡易間仕切)	PB9.5両面 LGS下地 存置1ヶ月程度 設置・撤去・修繕・処分・運搬共	12.6	m			
	仮囲い扉(簡易間仕切用)	W900xH2000 存置1ヶ月程度 掛払・損料・修繕・運搬共	2.0	ヶ所			
	化学物質濃度測定	パッシブ法 6物質 測定物質:ホルムアルデヒド トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン (事前・事後各1回)	6.0	回			
	交通誘導員(B)		5.0	人工			
	I-2(率仮設分) - 計						
	I - 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
II	直接工事費						
A	建築改修工事		1.0	式			
B	電気設備改修工事		1.0	式			
C	機械設備改修工事		1.0	式			
	II - 合計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
A	建築改修工事						
①	直接仮設工事		1.0	式			
②	既存撤去工事	集積・運搬・処分共	1.0	式			
③	改修復旧工事		1.0	式			
④	建具改修工事		1.0	式			
	A ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	直接仮設工事						
	【養生】						
	養生(内部改修)	複合改修	28.9	m2			
	養生(内部改修)	搬出入路部分	103.0	m2			
	【整理清掃】						
	整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	19.3	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	9.6	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	111.0	m2			
	【内部足場】						
	内部脚立足場	並列 存置1ヶ月間程度 掛払・損料・修繕・運搬共	28.9	m2			
	① ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	既存撤去工事						
1	撤去工事		1.0	式			
2	廃材積込		1.0	式			
3	廃材運搬		1.0	式			
4	廃材処分		1.0	式			
	② 一 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②-1	撤去工事						
	(内 部)						
	床 長尺塩ビシート撤去	集積共	25.7	m2			
	床 汚垂石撤去	集積共	3.2	m2			
	巾木 ステンレス巾木撤去	集積共	43.3	m			
	壁 メラミン化粧不燃板撤去	集積共	90.4	m2			
	壁 下地石膏ボード撤去	一重張・集積共	105.0	m2			
	間仕切・ライニング壁 軽鉄間仕切撤去	集積共	33.0	m2			
	ライニング甲板撤去	集積共	14.1	m			
	壁 珪藻土かき落し	集積共	14.3	m2			
	天井 ケイ酸カルシウム板撤去	一重張・集積共	28.9	m2			
	天井 グラスウール撤去	集積共	19.3	m2			
	天井 塩ビ廻縁撤去	集積共	38.7	m			
	トイレブーススクリーン撤去	集積共	29.7	m2			
	床 床デッキコン穴開け撤去	600x600 カッター入・集積共	2.0	ヶ所			

[illegible]

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②-2	廃材積込						
	解体廃材積込	コンクリート屑 人力積込	0.2	t			
	解体廃材積込	塩ビシート屑 人力積込	0.2	t			
	解体廃材積込	汚垂石屑 人力積込	0.1	t			
	解体廃材積込	石膏ボード屑 人力積込	0.7	t			
	解体廃材積込	ケイ酸カルシウム板屑 人力積込	0.1	t			
	解体廃材積込	塩ビ屑 人力積込	0.1	t			
	解体廃材積込	木材屑 人力積込	0.4	t			
	解体廃材積込	混合屑 人力積込	0.2	t			
	解体廃材積込	ステンレス屑 人力積込	0.1	t			
	解体廃材積込	LGS・スチール屑 人力積込	0.5	t			
	②-2 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②-3	廃材運搬						
	解体廃材運搬	コンクリート屑 DT2・4t積 片道概10km程度	0.2	t			
	解体廃材運搬	塩ビシート屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.2	t			
	解体廃材運搬	汚垂石屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.1	t			
	解体廃材運搬	石膏ボード屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.7	t			
	解体廃材運搬	ケイ酸カルシウム板屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.1	t			
	解体廃材運搬	塩ビ屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.1	t			
	解体廃材運搬	木材屑 DT2・4t積 片道概10km程度	0.4	t			
	解体廃材運搬	混合屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.2	t			
	解体廃材運搬	ステンレス屑 DT2・4t積 片道概10km程度	0.1	t			
	解体廃材運搬	LGS・スチール屑 DT2・4t積 片道概10km程度	0.5	t			
	②-3 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②-4	廃材処分						
	解体廃材処分	コンクリート屑	0.2	t			
	解体廃材処分	塩ビシート屑	0.2	t			
	解体廃材処分	汚垂石屑	0.1	t			
	解体廃材処分	石膏ボード屑	0.7	t			
	解体廃材処分	ケイ酸カルシウム板屑	0.1	t			
	解体廃材処分	塩ビ屑	0.1	t			
	解体廃材処分	木材屑	0.4	t			
	解体廃材処分	混合屑	0.2	t			
	解体廃材処分(有価物処分)	ステンレス屑	▲ 0.1	t			
	解体廃材処分(有価物処分)	LGS・スチール屑(H3程度)	▲ 0.5	t			
	②-4 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	改修復旧工事						
	床 和式便器撤去跡スラブ穴埋め	W350xD650 無収縮モルタル詰・補強鉄筋・金鰻押え共	5.0	ヶ所			
	床 洋便器配管跡スラブ穴埋め	100φ xH150程度 無収縮モルタル詰・補強鉄筋・金鰻押え共	1.0	ヶ所			
	床 長尺塩ビシート貼り	t2.5 抗菌・防滑仕様 溶接工法 既存面下地処理共	27.3	m2			
	床 汚垂石貼り	既製品 ToTo:ハイトロセラ同等	1.6	m2			
	巾木 ステンレス巾木	H75 材工共	36.6	m			
	壁 メラミン化粧不燃板張り	t3.0 材工共	69.7	m2			
	ライニング下地壁 下地耐水合板張り	t12 材工共	12.2	m2			
	壁 下地耐水石膏ボード	t12.5 材工共	57.6	m2			
	ライニング下地壁 軽量鉄骨間仕切下地組	W100 @450	12.2	m2			
	壁 珪藻土塗り替え	下地調整共	14.3	m2			
	壁 下地耐水石膏ボード	t12.5 継目処理共	14.3	m2			
	壁 珪藻土塗り見切金物	アルミ製	33.9	m			
	ライニングTOP ライニング甲板	W120 タモ集成材t25	10.1	m			
	ライニングTOP ウレタン塗装(UC)	木部 細巾 素地ごしらえ共	10.1	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	ライニングTOP 取合シーリング	10x10程度 MS-2	10.1	m			
	天井 合成樹脂エマルジョンペイント(EP)	素地ごしらえ共 (ケイカル面)	28.9	m2			
	天井 ケイ酸カルシウム板張り	t6 目透し	28.9	m2			
	天井 グラスウール敷き込み	t100 24kg/m2品	19.3	m2			
	塩ビ廻り縁	突付	38.7	m			
	既存木製建具枠・大手 合成樹脂調合ペイント(SOP)	木建面 既存塗装面下地調整共	2.6	m2			
	化粧鏡	W1200xH700	2.0	ヶ所			
	化粧鏡	W1240xH700	1.0	ヶ所			
	天井点検口	450x450 切込み補強共	3.0	ヶ所			
	床 床下点検口	600x600 ステンレス製	2.0	ヶ所			
	天井 軽鉄天井下地組開口補強	300x300 (機械設備 換気扇類)	8.0	ヶ所			
	天井 軽鉄天井下地組開口補強	1400x500 (機械設備 電気ヒーター)	6.0	ヶ所			
	壁ビッドサイン取替	既存枠再利用200x200 表示板160x160取替 既存撤去・処分共	6.0	ヶ所			
	床ビッドサイン取替	床長尺シートサイン 既存撤去処分共	2.0	ヶ所			
	③ ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④	建具改修工事						
1)	1階女子便所トイレブース		1.0	式			
2)	1階男子便所トイレブース		1.0	式			
3)	2階女子便所トイレブース		1.0	式			
	④ 一 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④-1)	1階女子便所トイレブース						
	(TB-1) トイレブーススクリーン	W(1520+1440+740)xH1900(扉:3ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレジン・付属金物一式共					
	(TB-2) トイレブーススクリーン	W(1340+1520)xH1900(扉:2ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレジン・付属金物一式共					
	(TB-3) トイレブーススクリーン	W600xH1900(隔立) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		アルミ笠木・アルミレジン・付属金物一式共					
	取付調整費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費	法定福利費等	1.0	式			
	④-1) 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④-2)	1階男子便所トイレブース						
	(TB-4) トイレブーススクリーン	W(1400+780)xH1900(扉:2ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレジン・付属金物一式共					
	(TB-5) トイレブーススクリーン	W(1250+750)xH1900(扉:1ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレジン・付属金物一式共					
	(TB-6) トイレブーススクリーン	W600xH1900(隔立) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		アルミ笠木・アルミレジン・付属金物一式共					
	取付調整費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費	法定福利費等	1.0	式			
	④-2) 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④-3)	2階女子便所トイレブース						
	(TB-7) トイレブーススクリーン	W(1530+1450)xH1900(扉:2ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレッキ・付属金物一式共					
	(TB-8) トイレブーススクリーン	W(1560+1500+800)xH1900(扉:3ヶ所) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		ラバトリ・ヒンジ・SUS表示錠・戸当・アルミ笠木 アルミレッキ・付属金物一式共					
	(TB-9) トイレブーススクリーン	W600xH1900(隔立) 高圧メラミン化粧板(パーティクル芯材)	1.0	ヶ所			
		アルミ笠木・アルミレッキ・付属金物一式共					
	取付調整費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	下請諸経費	法定福利費等	1.0	式			
	④-3) 小計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
B	電気設備改修工事						
①	電灯設備	電灯分岐	1.0	式			
②	電灯設備	コンセント分岐	1.0	式			
③	自動火災報知設備		1.0	式			
④	撤去工事	産業廃棄物処理含む	1.0	式			
	B - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	電灯設備	電灯分岐					
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C PF内	3.0	m			
	〃	EM-EEF1.6-2C いんぺい	17.0	m			
	〃	EM-EEF1.6-3C いんぺい	24.0	m			
	〃	EM-EEF2.0-3C いんぺい	4.0	m			
	電線管	PF22 いんぺい	2.0	m			
	アウトレットボックス	102×102×44 塗代付	2.0	個			
	〃	102×102×54 C付	6.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1	1.0	個			
	〃	1P4A×1 ランプ内蔵	3.0	個			
	熱線センサースイッチ	天井埋込型 親機 3A	3.0	個			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	同上 子機	天井埋込型	6.0	個			
	照明器具	A 支持材共	6.0	個			
	① - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	電灯設備	コンセント分岐					
	ケーブル	EM-CE3.5sq-3C 管内	9.0	m			
	〃	EM-CE3.5sq-3C いんぺい	9.0	m			
	〃	EM-CE3.5sq-3C ラック	27.0	m			
	〃	EM-CE5.5sq-3C 管内	12.0	m			
	〃	EM-CE5.5sq-3C いんぺい	3.0	m			
	〃	EM-CE5.5sq-3C ラック	37.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C PF内	4.0	m			
	〃	EM-EEF2.0-2C いんぺい	18.0	m			
	〃	EM-EEF2.0-3C 管内	3.0	m			
	〃	EM-EEF2.0-3C PF内	22.0	m			
	〃	EM-EEF2.0-3C いんぺい	40.0	m			
	電線管	VE22 露出	10.0	m			
	〃	PF22 いんぺい	22.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	プルボックス	150×150×100 VE-WP	1.0	個			
	アウトレットボックス	102×102×44 塗代付	14.0	個			
	〃	102×102×54 C付	5.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E)×1 ET	10.0	個			
	② - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	自動火災報知設備						
	感知器 取外し再取付	定温式スポット型	3.0	個			
	③ ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④	撤去工事	産業廃棄物処理含む					
	天井仕上材 取外し再取付		6.0	m ²			
	撤去工事費		1.0	式			
	<参考数量>						
	ケーブル	再使用しない VVF1.6-3C	34.0	m			
	埋込スイッチ	再使用しない 1P15A×1+1PL4A×1	1.0	個			
	//	再使用しない 1P15A×2+1PL4A×1	1.0	個			
	//	再使用しない 1P15A×3+1PL4A×2	1.0	個			
	照明器具	再使用しない 直付形 FL40W×1	5.0	個			
	//	再使用しない シーリングライト	2.0	個			
	位置ボックス		2.0	個			
	ケーブル	再使用しない VVF2.0-2C	15.0	m			
	//	再使用しない VVF2.0-3C	47.0	m			
	位置ボックス		14.0	個			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	埋込コンセント		4.0	個			
	感知器		1.0	個			
	<産業廃棄物処理費>	ランプ処理費共含む					
	解体廃材積込	混合屑 人力積込	0.1	t			
	解体廃材運搬	混合屑 DT2・4t積 片道概30km程度	0.1	t			
	解体廃材処分	混合屑	0.1	t			
	④ 一 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
C	機械設備改修工事						
①	衛生器具設備工事		1.0	式			
②	給水設備工事		1.0	式			
③	排水設備工事		1.0	式			
④	暖房設備工事		1.0	式			
⑤	換気設備工事		1.0	式			
⑥	撤去工事		1.0	式			
	C - 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
①	衛生器具設備工事						
	洋風便器	ロータンクタンク式・掃除口付 暖房便座・紙巻器・他付属品共	10.0	組			
	低リップ形小便器	自動洗浄型・壁掛式	4.0	組			
	掃除流し	給水栓13A・床給水ホース 鎖付共栓・ストラップ・他付属品共	3.0	組			
	ボウル一体型洗面カウンター	ブラケット型 間口:1,300程度 付属品共 ボウル2組(自動単水栓・自己発電式)共	3.0	組			
	① ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
②	給水設備工事						
1)	給水設備						
	塩ビライニング鋼管	機械室便所 VB 20A	43.0	m			
	塩ビライニング鋼管	機械室便所 VB 25A	1.0	m			
	塩ビライニング鋼管	機械室便所 VB 32A	7.0	m			
	塩ビライニング鋼管	機械室便所 VB 40A	1.0	m			
	既設管切断接続(延長部分)	保温補修共	1.0	式			
	(参考内訳)	鋼管 VB40A 1ヶ所					
	はつり補修	鉄筋探查共	1.0	式			
	(参考内訳)	RCコア抜き 床 20ヶ所					
	保温工事	給水管 ピット内(PS30t) 20A	24.0	m			
		給水管 ピット内(PS30t) 25A	1.0	m			
		給水管 ピット内(PS30t) 32A	5.0	m			
		給水管 天井・PS・空壁中(GW30t) 20A	19.0	m			
		給水管 天井・PS・空壁中(GW30t) 25A	1.0	m			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
		給水管 天井・PS・空壁中(GW30t) 32A	2.0	m			
		給水管 天井・PS・空壁中(GW30t) 40A	1.0	m			
	水質検査	水質基準検査11項目及びトルエン	3.0	回			
	1) - 小計						
	2) 電動水抜栓設備						
	駆動部	水抜栓口径 32A～40A用	1.0	台			
	操作盤	埋込形 1回路 補修プレート共	1.0	台			
	操作盤	既存品再取付	1.0	台			
	EM-EEF ケーブル	1.6-2C 管内	6.0	m			
	2) - 小計						
	② - 計	1)+2)					

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	排水設備工事						
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室便所 VP 40A	7.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室便所 VP 50A	7.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室便所 VP 65A	3.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室便所 VP 75A	7.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室便所 VP 100A	18.0	m			
	耐火被覆硬質塩化ビニル管	機械室便所 VP 40A	3.0	m			
	耐火被覆硬質塩化ビニル管	機械室便所 VP 50A	1.0	m			
	耐火被覆硬質塩化ビニル管	機械室便所 VP 65A	1.0	m			
	耐火被覆硬質塩化ビニル管	機械室便所 VP 75A	4.0	m			
	耐火被覆硬質塩化ビニル管	機械室便所 VP 100A	9.0	m			
	床上掃除口	COA 100A	7.0	個			
	低位通気弁	65A	7.0	個			
	既設管切断接続(延長部分)	保温補修共	1.0	式			

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
	(参考内訳)	樹脂管 VP100A 3ヶ所					
	はつり補修	鉄筋探查共	1.0	式			
	(参考内訳)	RCコア抜き 床 30ヶ所					
	型鋼振れ止め支持		1.0	式			
	保温工事	排水管 天井・PS・空壁中(GW20t) 40A	2.0	m			
		排水管 天井・PS・空壁中(GW20t) 50A	1.0	m			
	③ 一 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
④	暖房設備工事						
	電気ヒーター EH-3	付属品共 遠赤ヒーター・天井埋込タイプ・H=1.5kW	1.0	台			
	既存 電気ヒーター EH-3	既存品再取付 遠赤ヒーター・天井埋込タイプ・H=1.5kW 2台					
	機器搬入据付費	上記計3台分	1.0	式			
	④ 一 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
③	換気設備工事						
	天井埋込換気扇 FV-1	サニタリー用・プラスチックボディ 150m3/h×70Pa 付属品共	6.0	台			
	機器搬入据付費		1.0	式			
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製 100φ	14.0	m			
	型鋼振れ止め支持		1.0	式			
	保温工事	スパイラルダクト外保温 屋内隠蔽・DS内 (GW25t) 100φ	2.0	m			
	⑤ ー 計						

No	名 称	規格・摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
⑥	撤去工事						
	撤去労務費	機器類・器具類・配管・ 配管付属品・保温等撤去	1.0	式			
	(参考内訳)	設備機械工 2.06人 配管工 17.75人					
		保温工 0.95人 ダクト工 0.46人					
		電工 0.11人					
	不要貫通口穴埋め	スラブ穴埋め	1.0	式			
	(参考内訳)	100φ以下 32ヶ所 150φ以下 12ヶ所					
	既設管切断閉塞処理	保温補修共	1.0	式			
	(参考内訳)	排水管C止め VP50A 6ヶ所					
	産業廃棄物処分費	積み込み・収集運搬共	1.0	式			
	(参考内訳)	コンクリート塊(陶器類含む)6.72 t 金属くず 0.37m3					
		安定型混合廃棄物 1.03m3					
	⑥ - 計						

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和4年度（明許繰越） 豊科南小学校 南校舎トイレ改修工事（Ⅱ期）

2. 工事場所： 安曇野市 豊科南小学校

3. 工事概要：

南校舎棟のトイレ施設の全面改修（Ⅱ期）

・1, 2F 児童用男女トイレ、：内装・設備機器及び設備配管共全面改修

4. 工期等

(1) 契約工期 契約日 ～ 令和5年10月16日

(2) 着手可能日 令和5年7月8日

※学校側と十分工程打合せをして施工時期を計画すること。

※夏休み予定 7/22～8/22

※希望として7/8～9 仮設事務所設置、7/15～17・7/22～23の5日間で解体処理
工事を完了させたい（24～26日に保護者懇談会が予定されているため大きな音
が出る作業ができないため。学校と要相談）

※8/22 までには概ね竣工をお願いします。（化学物質濃度測定を残す程度）

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内

駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

- (2) 児童・教員及び施設の利用者の安全に対して、十分配慮すること。
- (3) 施設に係る支障事項は、事前に施設管理者へ報告を行い、作業内容等十分な配慮を行うこと。
- (4) 契約後に提示する行事及び下記(5)に記載した事項を確認・協議して工程を計画すること。また、可能な限り工事期間の短縮をすること。
- (5) 改修工事については、小学校の夏休み期間を中心に現場の施工を行うこと。夏休み期間を含め施設を運営しながらの施工となるため、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。

夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

学校行事（準備片付も含む）の予定があるため、打合せの上、騒音等に配慮し学校運営に支障がないよう努めること。

- (6) 現場引き渡しにあたり、現場引き渡し検査の前に化学物質の濃度測定を行い、結果を報告すること。
- (7) 児童・保護者及び職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。
- (6) 園内で他工事がある場合は適宜調整すること。
- (7) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (8) 新型コロナウイルス感染症対策は十分に講じること。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

・この工事は執務並行型の工事である。

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

~~受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。~~

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計

等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予測することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

- ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. ~~再生資源利用促進計画書等~~

~~「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。~~

~~対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事~~

~~作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。~~

~~※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス~~

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

(1) 工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ① 積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ② 過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③ 過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④ 資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤ 下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥ 飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦ 土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

(2) 以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1) セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2) セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3) 六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. ~~アスベスト建材使用箇所等の事前調査~~

- ~~(1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。~~

~~報告書の記載内容~~

- ~~① アスベスト材料の種別~~
- ~~② アスベスト形状、飛散可能性の有無~~
- ~~③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率~~

~~なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。~~

- ~~(2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。~~

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. ~~再資源化及び再生資源等使用状況~~

~~工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシューラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。~~

18. ~~レディーミクストコンクリート製造工場の選定について~~

~~受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平~~

~~成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認証を受けた工場)で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者(コンクリート主任技士等)が置かれ、良好な品質管理が行われている工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定する。~~

~~ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。~~

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録(工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報)
- ・ 工事打合わせ記録簿(当月分)
- ・ 工事写真(工事の進捗状況がわかるものを数枚)

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

令和4年度（明許繰越）豊科南小学校南校舎トイレ改修工事（Ⅱ期）

令和5年2月

安曇野市

II 期工事

建 築

C ②-1棟1 ・ D ②-2棟1・2

[illegible]

電 氣

C ②-1棟1 ・ D ②-2棟1・2

[illegible]

機械

C ②-1棟1 ・ D ②-2棟1・2

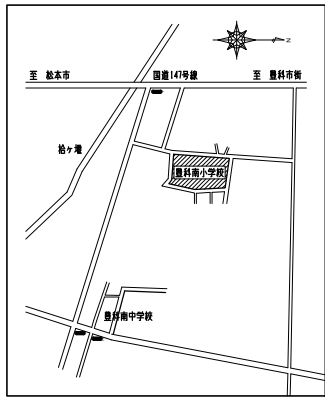
[illegible]

*

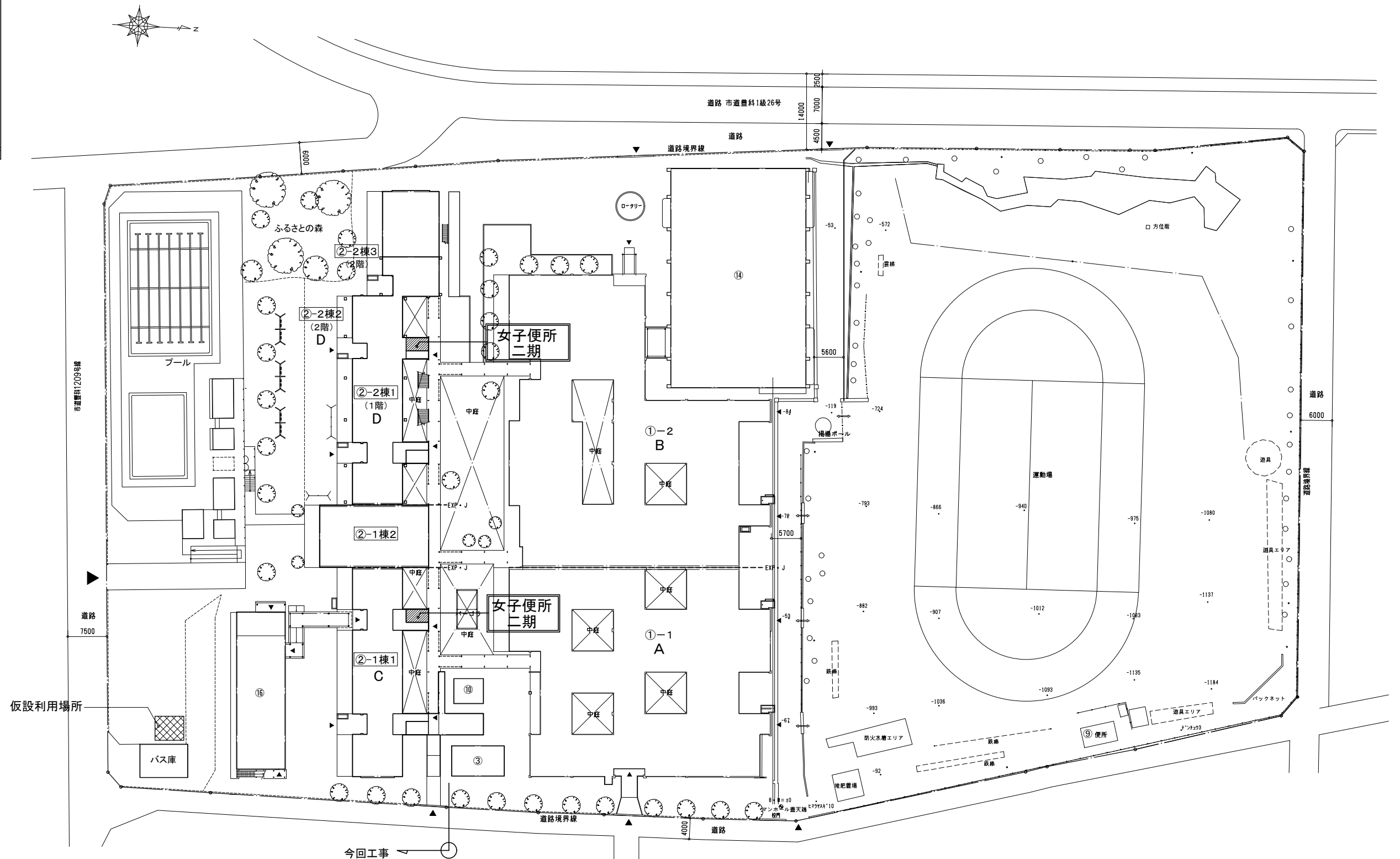
*

[illegible]

SHEET NO.				DRAWING	CHECK	DATE 2023. 2			SCALE	MAP NAME 図面リスト	CONSTRUCTION NAME 令和4年度（明許繰越）豊科南小学校南校舎トイレ改修工事（Ⅱ期）	MAP NO. 共一〇〇／〇〇



案内図



配置図

工事範囲を示す

- C 南校舎1階：②-1棟-1
- D 南校舎1階：②-2棟-1
- D 南校舎2階：②-2棟-2

SHEET NO.			DRAWING	CHECK	DATE	SCALE		MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
						A1	1:400			
					2023.2	A3	1:800	配置・案内図	令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)	共-01/00

[illegible]

5

建具改修工事

1

改修工法

[5.1.3]

2

防火戸

[5.1.4]

3

見本の製作等

[5.1.5]

4

防犯建物部品

[5.1.7]

5

アルミニウム製建具

[5.2.2、4、5][表 5.2.2]

6

樹脂製建具

[5.3.2~5]

7

鋼製建具

[5.2.2][5.4.2~4][表 5.4.2]

8

鋼製軽量建具

[5.2.2][5.5.2~4]

9

ステンレス製建具

[5.2.2][5.4.2][5.6.2~4]

10

建具用金物

[5.7.2、3]

11

鍵

[5.7.4]

12

自動ドア開閉装置

[5.8.2、3]

13

自開式上吊り引戸装置

[5.9.3]

14

重量シャッター

[5.10.2、3]

15

軽量シャッター

[5.11.2~4]

16

オーバーヘッドドア

[5.12.2、3]

17

ガラス

[3.7][5.13.2~4][表5.13.1]

18

ガラスブロック

[5.13.5]

19

ガラス用フィルム

[6.1.3]

20

内装改修工事

[6.2.2]

21

内装改修工事

[6.3.2]

22

内装改修工事

[6.5.1]

23

内装改修工事

[6.5.2]

24

内装改修工事

[6.5.2]

25

内装改修工事

[6.5.2]

26

内装改修工事

[6.5.2]

27

内装改修工事

[6.5.2]

28

内装改修工事

[6.5.2]

29

内装改修工事

[6.5.2]

30

内装改修工事

[6.5.2]

31

内装改修工事

[6.5.2]

32

内装改修工事

[6.5.2]

33

内装改修工事

[6.5.2]

34

内装改修工事

[6.5.2]

35

内装改修工事

[6.5.2]

36

内装改修工事

[6.5.2]

37

内装改修工事

[6.5.2]

38

内装改修工事

[6.5.2]

39

内装改修工事

[6.5.2]

40

内装改修工事

[6.5.2]

41

内装改修工事

[6.5.2]

42

内装改修工事

[6.5.2]

43

内装改修工事

[6.5.2]

44

内装改修工事

[6.5.2]

45

内装改修工事

[6.5.2]

46

内装改修工事

[6.5.2]

47

内装改修工事

[6.5.2]

48

内装改修工事

[6.5.2]

49

内装改修工事

[6.5.2]

50

内装改修工事

[6.5.2]

51

内装改修工事

[6.5.2]

52

内装改修工事

[6.5.2]

53

内装改修工事

[6.5.2]

54

内装改修工事

[6.5.2]

55

内装改修工事

[6.5.2]

56

内装改修工事

[6.5.2]

57

内装改修工事

[6.5.2]

58

内装改修工事

[6.5.2]

59

内装改修工事

[6.5.2]

60

内装改修工事

[6.5.2]

61

内装改修工事

[6.5.2]

62

内装改修工事

[6.5.2]

63

内装改修工事

[6.5.2]

64

内装改修工事

[6.5.2]

65

内装改修工事

[6.5.2]

66

内装改修工事

[6.5.2]

67

内装改修工事

[6.5.2]

68

内装改修工事

[6.5.2]

69

内装改修工事

[6.5.2]

70

内装改修工事

[6.5.2]

71

内装改修工事

[6.5.2]

72

内装改修工事

[6.5.2]

73

内装改修工事

[6.5.2]

74

内装改修工事

[6.5.2]

75

内装改修工事

[6.5.2]

76

内装改修工事

[6.5.2]

77

内装改修工事

[6.5.2]

78

内装改修工事

[6.5.2]

79

内装改修工事

[6.5.2]

80

内装改修工事

[6.5.2]

81

内装改修工事

[6.5.2]

82

内装改修工事

[6.5.2]

83

内装改修工事

[6.5.2]

84

内装改修工事

[6.5.2]

85

内装改修工事

[6.5.2]

86

内装改修工事

[6.5.2]

87

内装改修工事

[6.5.2]

88

内装改修工事

[6.5.2]

89

内装改修工事

[6.5.2]

90

内装改修工事

[6.5.2]

91

内装改修工事

[6.5.2]

92

内装改修工事

[6.5.2]

93

内装改修工事

[6.5.2]

94

内装改修工事

[6.5.2]

95

内装改修工事

[6.5.2]

96

内装改修工事

[6.5.2]

97

内装改修工事

[6.5.2]

98

内装改修工事

[6.5.2]

99

内装改修工事

[6.5.2]

100

内装改修工事

[6.5.2]

SHEET NO.

DRAWING

CHECK

DATE

2023.2

SCALE

A1

Non

A3

Non

MAP NAME

特記仕様書-3

CONSTRUCTION NAME

令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)

MAP NO.

共-04

00

7造作用単板積層材	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
8床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.2]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
9接着剤	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
10防霉・防蟻処理	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
11軽量鉄骨天井地下	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.6.2~4]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
12軽量鉄骨地下	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	
	[6.7.3] [表6.7.1]		[6.8.2]		[6.11.2~7]	

SHEET NO.				DRAWING	CHECK	DATE	SCALE			MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
							A1	Non	特記仕様書-4			
							A3	Non				

③モルタル塗り

24タイル張り

吸水調整材は、改修工事標準仕様書表4.2.2による。
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
・設けない
床目地 ・設ける（工法※押し目地 ・ ）
・設けない
・防水剤（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内こと ・図示 ・ ）
床タイル以外（ ・図示 ・ ）
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途	形状/寸法	吸水率による区分	うねり	役物	色	再生材の耐凍害性	塗り抵抗性	備考		
による区分	(mm)	I類	II類	III類	IV類	有	無	標準	特注	有	無
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、遅和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材（品質・性能）
建築材料等品質性能表による（試験方法）
建築材料等品質性能表による

・接着剤による陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	主な用途	形状/寸法	吸水率による区分	うねり	役物	色	再生材の耐凍害性	塗り抵抗性	備考		
による区分	(mm)	I類	II類	III類	IV類	有	無	標準	特注	有	無
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

④塗装

25セルフレベリング材塗り

施工調査
※アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲（ ・図示 ）
貸与資料（ ）
・分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソファライト、トレモライト
分析方法
※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
・

材 料 名	定性分析	定量分析
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示 ・

アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	計 点
・	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート	処理作業室内	計 点
・	測定 8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・	・ 5 ・	・ 10 ・
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・	・ 120 ・	・ 240 ・

⑤断熱・防露改修工事

施工調査
※アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲（ ・図示 ）
貸与資料（ ）
・分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソファライト、トレモライト
分析方法
※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
・

材 料 名	定性分析	定量分析
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示 ・

アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	計 点
・	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート	処理作業室内	計 点
・	測定 8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・	・ 5 ・	・ 10 ・
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・	・ 120 ・	・ 240 ・

⑥断熱アスファルト
防水改修工事

外断熱改修工事

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ(mm)
・ビーズ法ポリエチレンフォーム保温材	
・押出法ポリエチレンフォーム保温材（スキナなし）	・保温板（2種b） ・保温板（3種b）
・A種硬質ウレタンホーム保温材	
・フェノールホーム保温材（3種2号を除く）	
・ロックウール	
・グラスウール	

施工箇所 ・図示 ・
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

外装材

種類	防火性能	備考
・		
既存外壁の措置		
既存外壁仕上げ材の撤去	・あり ・なし	
下地面の清掃	・行う ・行わない	
欠損部の改修工法	・改修標準仕様書4.1.4による ・	

工法

通気層の有無 ・あり（ mm） ・なし
断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

9.4.2

種類	厚さ(mm)
・保温板（2種b）	・25 ・
・保温板（3種b）	・25 ・
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	
施工箇所	・図示 ・

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・B種1
厚さ（mm） ・25 ・30 ・
施工箇所 ・図示

・現場発泡断熱材（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

⑦材料

⑧断熱・防露改修工事

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※塗替え面積の30％ ・図示 ・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修
	塗替え 新規	
木部	※R B種 ・ R A種 ・ R B種 ・	
鉄鋼面	※R B種 ・ R A種	
亜鉛めっき面	※R B種 ・ R A種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	※R B種 ・ R A種 ・ R B種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※R B種 ・ R A種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・ R A種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※R B種 ・ R A種 ・ R B種	－

7.3.2～3

	塗装面	塗料	工程
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え A種 ※C種 ・ 新規鉄鋼面見え掛り A種 ※A種 ・ 新規見え隠れ A種 ※B種 ・	
	EP-G	塗替え B種 ※C種 ・ 新規鉄鋼面見え掛り B種 ※A種 ・ 新規見え隠れ B種 ※B種 ・	
		EP-G以外	塗替え ※A種 ・ ※C種 ・ 新規鉄鋼面見え掛り ※A種 ・ ※C種 ・
	亜鉛めっき面	EP-G	塗替え C種 ※C種 ・ 新規鉄鋼面見え掛り C種 ※A種 ・

⑧断熱・防露改修工事

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ(mm)
・ビーズ法ポリエチレンフォーム保温材	
・押出法ポリエチレンフォーム保温材（スキナなし）	・保温板（2種b） ・保温板（3種b）
・A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・フェノールフォーム保温材（3種2号を除く）	
施工箇所	・図示 ・

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・B種1
厚さ（mm） ・25 ・30 ・
施工箇所 ・図示

・現場発泡断熱材（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

⑨環境配慮改修工事

1 アスベスト含有建材の処理工事

25セルフレベリング材塗り

施工調査
※アスベスト含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲（ ・図示 ）
貸与資料（ ）
・分析によるアスベスト含有建材の調査
分析対象
アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソファライト、トレモライト
分析方法
※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
・

材 料 名	定性分析	定量分析
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示 ・

アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	計 点
・	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート	処理作業室内	計 点
・	測定 8	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・	・ 5 ・	・ 10 ・
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・	・ 120 ・	・ 240 ・

6 屋上緑化改修工事

7 透水性アスファルト舗装改修工事

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・
（品質・性能）
工事建築材料等品質性能表による（試験方法）
工事建築材料等品質性能表による

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

かん水装置 ・設置する（種類 ・ ・ ）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・
路床

路床の材料	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10％以下）	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10％以下）	・図示 ・
・フィルタ層	・砂	・図示 ・

路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
・
添加量 kg/m（目標CBR ・5以上 ・ ）
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/?以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・1.5×10 cm/sec以上 ・

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験 ・行う ・行わない
路床締め度の試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示 ・
路盤材料 ※再生材のクラッシャーラン
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・
・図示

試験
路盤締め度の試験 ※行う ・行わない

舗装	材料	厚さ(mm)
ストレータスファルト	・図示 ・	

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・

種類	採取する部位・箇所数	備 考
・PCB 含有シーリング 分析調査(第一次判定)	部 位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	
・PCB 含有シーリング 分析調査(第二次判定)	部 位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	

詳細は監督員との協議による

SHEET NO.

DRAWING

CHECK

DATE

2023.2

SCALE

A1 Non
A3 Non

MAP NAME

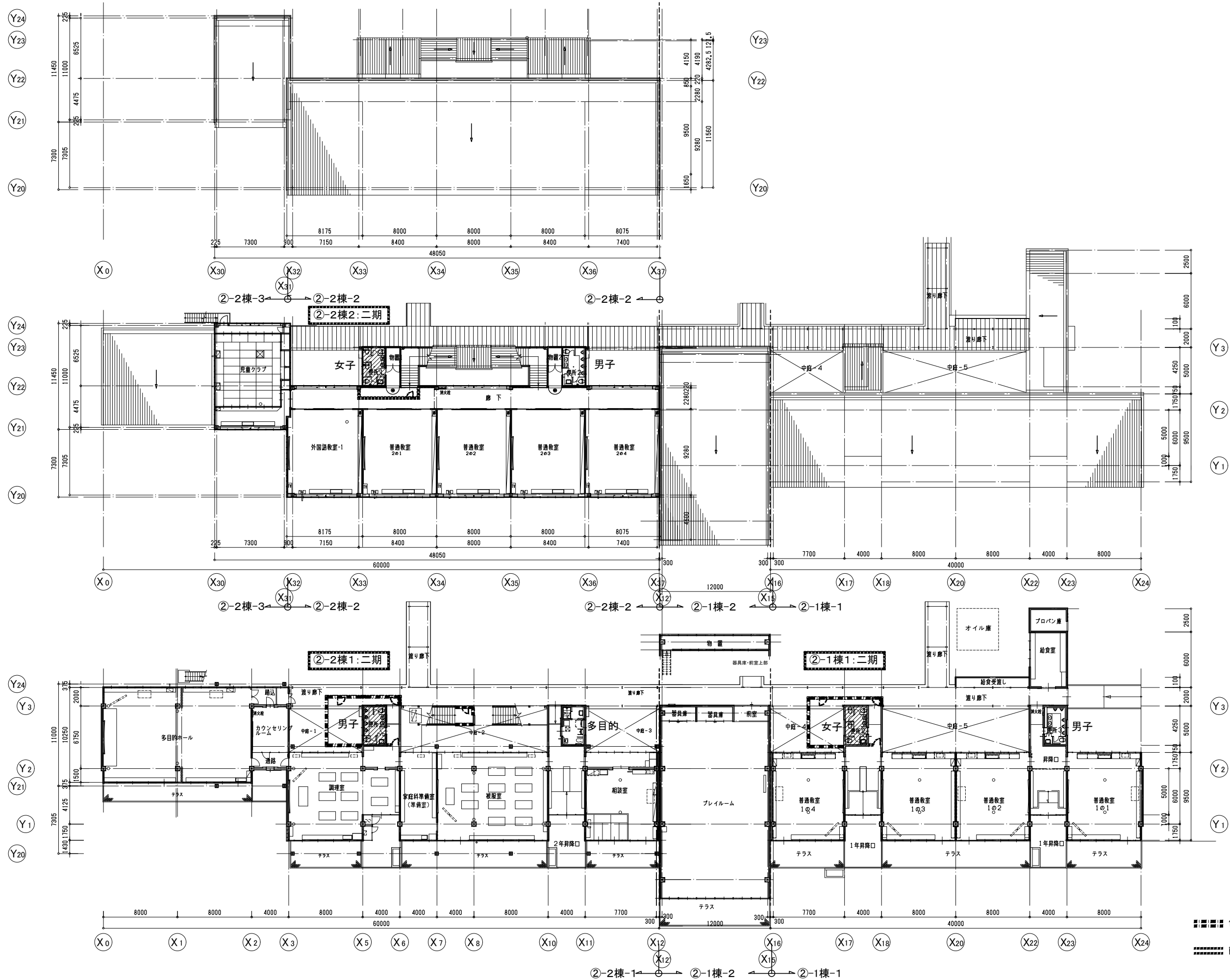
特記仕様書-5

CONSTRUCTION NAME

令和4年度（明許繰越）豊科南小学校南校舎トイレ改修工事（Ⅱ期）

MAP NO.

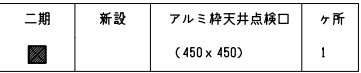
共-06/00

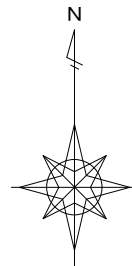


■ 仮囲い：養生ネットH1800
扉含む
簡易周仕切：PB9.5両面L6S下地
扉含む

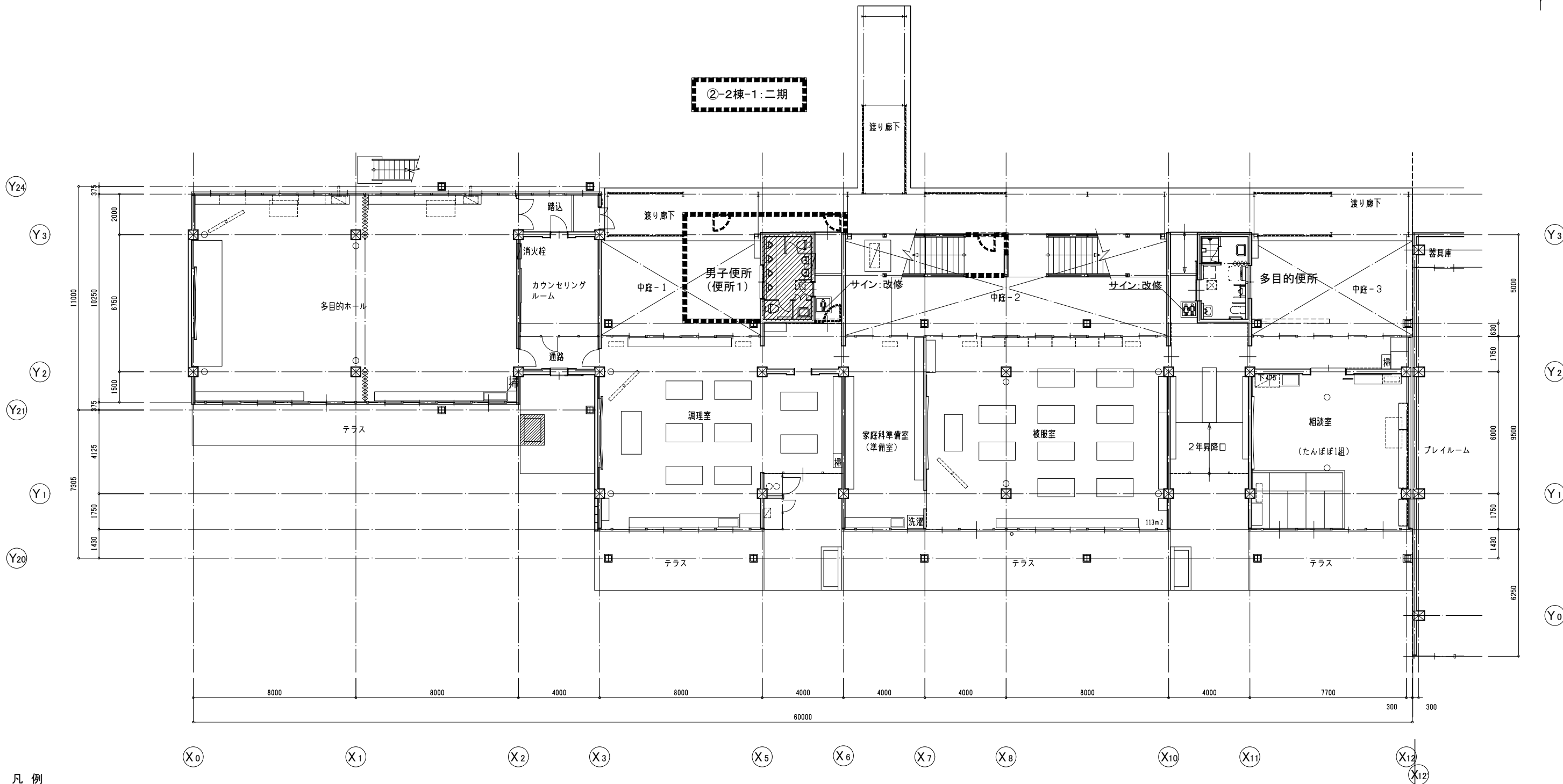
SHEET NO.		DRAWING		CHECK	DATE	SCALE		MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
					2023.2	A1 1:200 A3 1:400		②-1棟・②-2棟 仮設計画図	令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)	共-08/00

(A)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし EP	(I)	既存仕上	木製梁 OS
	改修仕様	既存のまま		改修仕様	既存のまま
(B)	既存仕上	化粧PB t=9.5	(J)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし AEP
	改修仕様	既存のまま		改修仕様	仕上撤去の上 張替え
(C)	既存仕上	梁型及び天井：モルタル全ゴテ AEP	(K)	既存仕上	岩綿吸音板 t9
	改修仕様	下地調整の上 AEP		改修仕様	既存仕上・下地撤去 張替え
(D)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし AEP	(L)	既存仕上	化粧PB t=9.5
	改修仕様	既存のまま		改修仕様	既存仕上撤去の上、化粧PB t9.5貼り
(E)	既存仕上	梁見切り：木製 AEP	(M)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし 吹付けタイル
	改修仕様	研磨の上 AEP		改修仕様	下地調整のうえ 吹付けタイル
(F)	既存仕上	化粧ボード（木目）	AB	既存仕上	カーテンボックス：アルミ
	改修仕様	既存のまま		改修仕様	既存のまま
(G)	既存仕上	化粧PB t=9.5	WB	既存仕上	カーテンボックス：木製 OP
	改修仕様	既存仕上・下地撤去の上、化粧PB t9.5貼り		改修仕様	既存のまま
(H)	既存仕上	クロス	SB	既存仕上	スクリーンボックス：木製 OP
	改修仕様	撤去の上 張替え		改修仕様	撤去の上 埋込ボックス新設
備考	天井改修時取り外した設備等は吊り金物新設の上、再取付。		<input checked="" type="checkbox"/>	既存仕上	アルミ枠天井点検口（450x450）
	※断熱材仕様：グラスウール24K 100t 天井改修部分へ敷き込み。				





②-2棟-1:二期



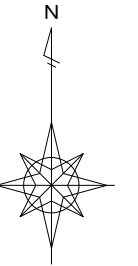
凡 例

	RC壁
	コンクリートブロック壁
	木造又は鉄骨造壁
	RC柱
	S柱

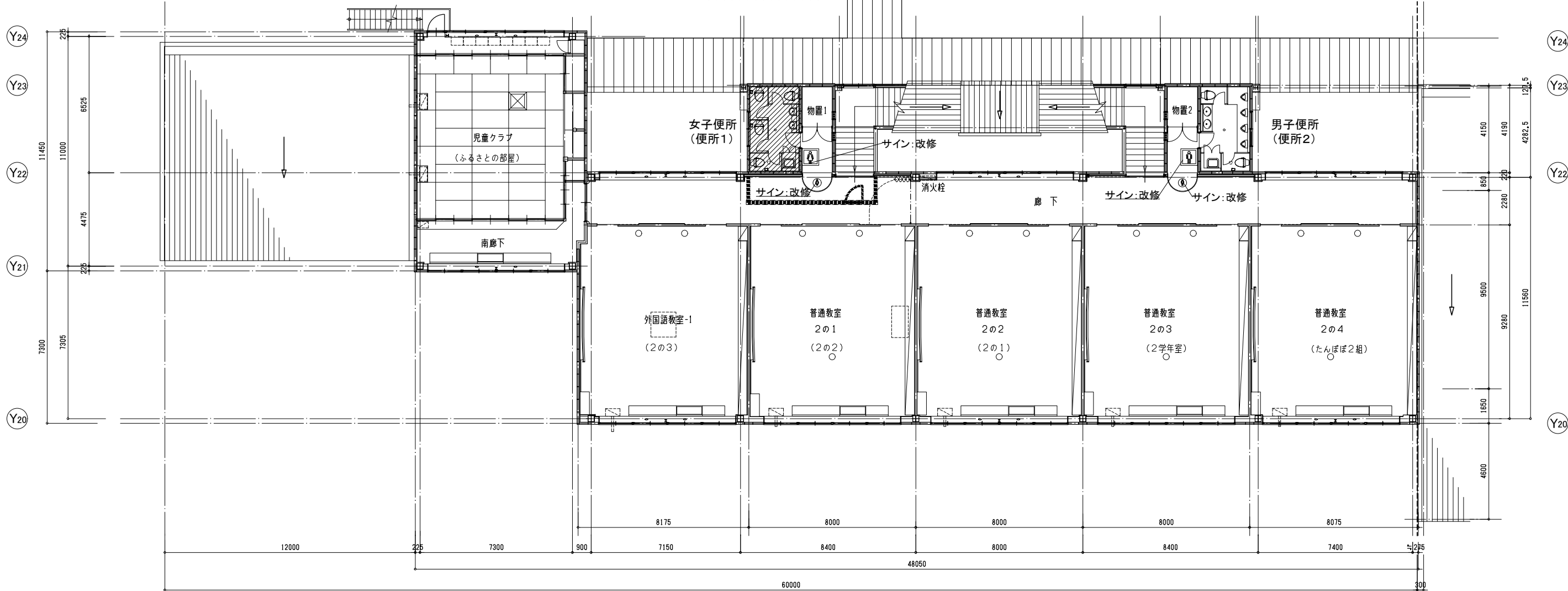
	ピクト:アクリル板、シルク印刷:取換
	既存枠再利用:200x200、表示板:160x160(取替)

②-2棟-1 ②-1棟-2

SHEET NO.				DRAWING	CHECK	DATE	SCALE	MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
						2023.2	A1 1:100 A3 1:200	②-2棟1 1階男子便所 平面図	令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(Ⅱ期)	A-04/00

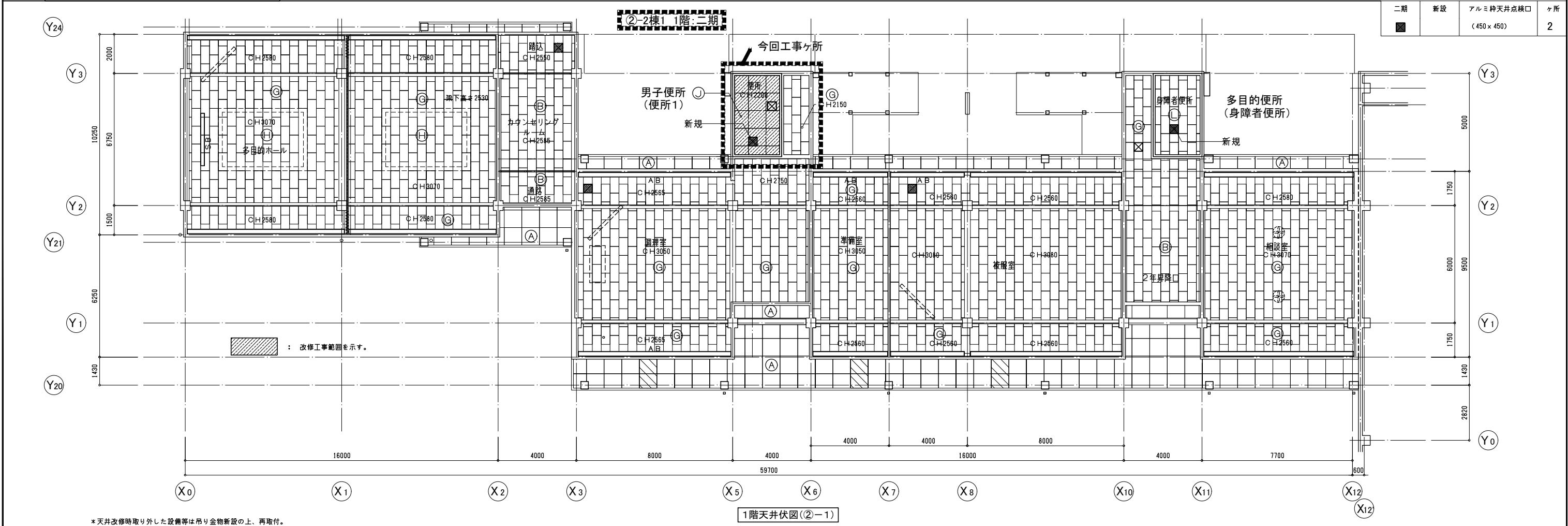
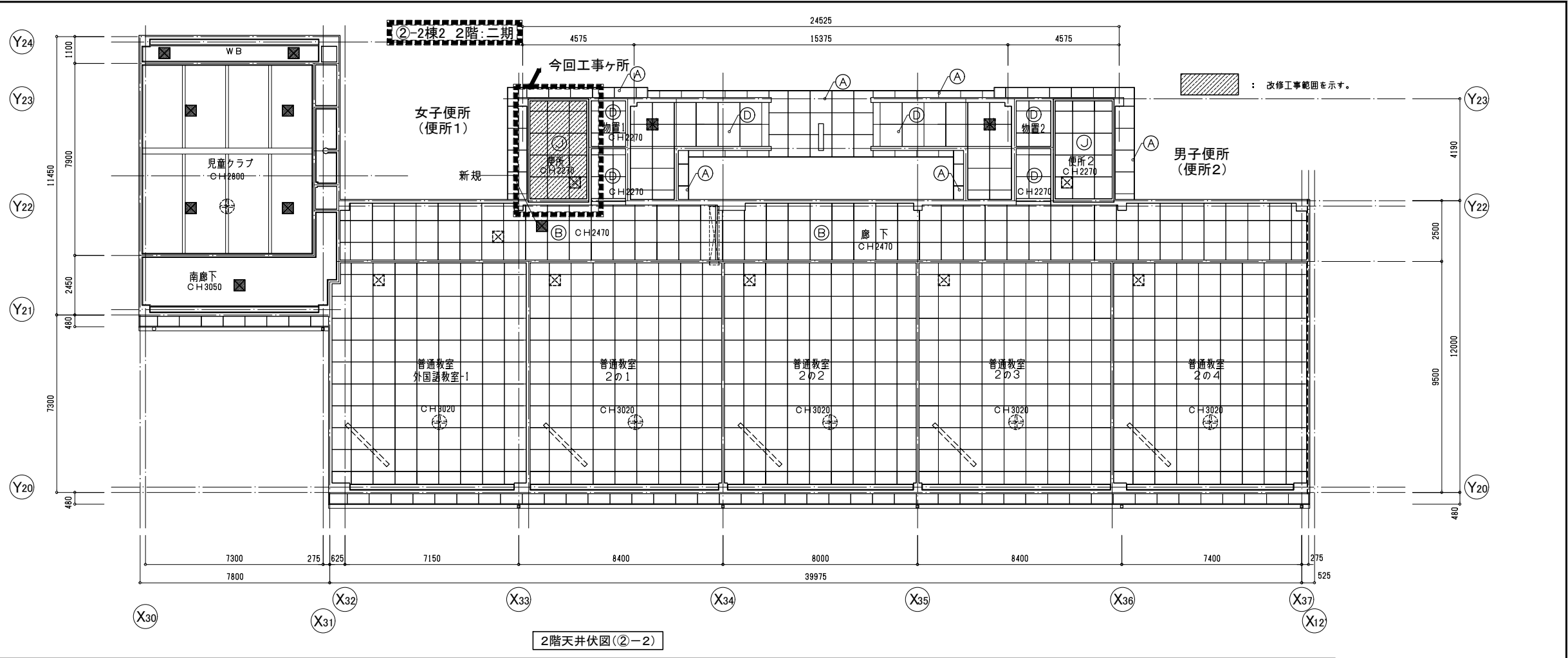


②-2棟-1:二期



	ピクト:アクリル板、シルク印刷:取換
	既存枠再利用:200x200、表示板:160x160(取替)
	ピクト:床サイン、長尺シート
	既存サイン撤去、新規取付

凡 例	(A)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし EP
		改修仕様	既存のまま
	(B)	既存仕上	化粧PB t=9.5
		改修仕様	既存のまま
	(C)	既存仕上	梁型及び天井：モルタル金ゴテ AEP
		改修仕様	下地調整の上 AEP
	(D)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし AEP
		改修仕様	既存のまま
	(E)	既存仕上	梁見切り：木製 AEP
		改修仕様	研磨の上 AEP
	(F)	既存仕上	化粧ボード（木目）
		改修仕様	既存のまま
	(G)	既存仕上	化粧PB t=9.5
		改修仕様	既存仕上下地撤去の上、化粧PB t9.5貼り
	(H)	既存仕上	クロス
		改修仕様	既存仕上下地撤去の上、化粧PB t9.5貼り
	(I)	既存仕上	木製梁 OS
		改修仕様	既存のまま
	(J)	既存仕上	ケイカル版 t=6目透かし AEP
		改修仕様	仕上撤去の上張替 (J)仕上下地撤去の上張替
	(L)	既存仕上	化粧PB t=9.5
		改修仕様	既存仕上撤去の上、化粧PB t9.5貼り
	AB	既存仕上	カーテンボックス：アルミ
		改修仕様	既存のまま
	WB	既存仕上	カーテンボックス：木製 OP
		改修仕様	既存のまま
	SB	既存仕上	スクリーンボックス：木製 OP
		改修仕様	撤去の上 埋込ボックス新設
	☒	既存仕上	アルミ幹天井点検口（450x450）既存
	*断熱材仕様：グラスウール24K 100t 天井改修部分へ敷き込み。		



既存 平面・展開図・仕上表		1階 西 便所-1		改修 平面・展開図・仕上表		1階 西 男子便所（便所-1）					
1.床：モルタル金ゴテ 30の上、防滑長尺塩ビシート 12.5貼リ		10.62㎡		1.床：仕上撤去 素地調整の上、防滑長尺塩ビシート 12.5貼リ替え		10.62㎡					
2.下地PB12.5、腰壁：メラミン化粧不燃板 13、上部：珪藻土風セメント系コテ塗材、隅仕切部分化粧ケイカル 16				2.既存仕上・下地撤去、下地PB12.5、腰壁：メラミン化粧不燃板 13 張替（木目）、上部：珪藻土風セメント系コテ塗材 塗替							
3.天井：ケイカル板 6目スカシ AEP				3.天井：仕上、下地撤去の上、ケイカル板 6目スカシ AEP 張替							
4.トイレブース（メラミン化粧板：木製エッジ）、戸枠窓枠新設				4.トイレブース（メラミン化粧板：木製エッジ） 取替							
5.手洗カウンター新設、巾木SUS				5.手洗カウンター既存撤去の上、新設、巾木：SUS							



NO	CHECK	DATE		SCALE	MAP NAME	CONSTRUCTION NAME
		2023.2		A1 A3	②-2棟2 2階女子便所 詳細・展開図	令和4年度(明許繰越)豊科南小
				1:50 1:100		

[illegible]

衛生器具表

<寒冷地仕様> 特記無き記号はTOTO及びLIXILの参考品番
汚れ防止加工・抗菌仕様（選定可能な器具のみ）

器 具 名	記号	付属品他	棟				- 1 棟				中 計	- 2 棟								中 計	合 計	備 考
			階	1 階				1 階				2 階										
				女 子 （ 使 所 2 ） 所				男 （ 子 使 所 1 ） 所					女 子 （ 使 所 1 ） 所									
洋 風 便 器	CS597BCS・SH596BAYR TCF226・YH702 ----- BC・P20HM・DT・PA250HWH CF・21ASJ・CF・63HST	掃除口付便器・タンクふた固定仕様 防露密結ロータンク（手洗無・流動式）・床給水 暖房便座・ｽﾌﾟﾘｽ製襦付二連紙巻器・他標準	4					4	2					4				6		10	JIS C1200S	
低リップ形小便器	UFS900WR U・A51MP	自動洗浄（自己発電式） 壁掛式・壁排水・他標準							4									4		4	JIS U620	
掃 除 流 し	SK22A・TN128 S・202A・SF・202	給水栓 20A・床給水ホース 銀付共栓・Sトラップ・他標準	1					1	1					1				2		3	JIS S210	
ポ ウ ル ー 体 形 洗面カウンター	MC45・TENA40AW MB・451K・AM・300T	ブラケットタイプ 間口：1,300 程度 一方エプロン ボウル2組 ブラケット・他付属品共 カラー：プレーンorホワイト 自動単水栓（自己発電式）・壁給水・Pトラップ・他標準	1					1	1					1				1		3	鏡 <建築>	

撤去器具リスト

全て撤去・処分とする

器 具 名	記号	付属品他	棟				中 計	- 2 棟								中 計	合 計	備 考	
			階	- 1 棟				1 階				2 階							
				便 所 2					便 所 1				便 所 1						
和 風 大 便 器	C750V	隅付ロータンク式・紙巻器共	2				2	1					2			3		5	
洋 風 便 器	CS20AB	密結ロータンク式・暖房便座・紙巻器共	1				1	1					1			2		3	
低リップ形小便器	UFS800C	自動洗浄型・壁掛式・壁排水	3				3	2					3			5		8	
掃 除 流 し	SK22A	Sトラップ・単水栓共	1				1	1					1			2		3	
はめ込み前丸洗面器	L830CRU	単水栓・壁給水・Pトラップ共	1				1	2					2			4		5	
洗面カウンター	ML35	ブラケットタイプ 間口： 650 程度						1								1		1	
洗面カウンター	ML35	ブラケットタイプ 間口： 800 程度						1								1		1	
洗面カウンター	ML35	ブラケットタイプ 間口：1,020 程度	1				1											1	
洗面カウンター	ML35	ブラケットタイプ 間口：1,330 程度											1			1		1	

凡 例

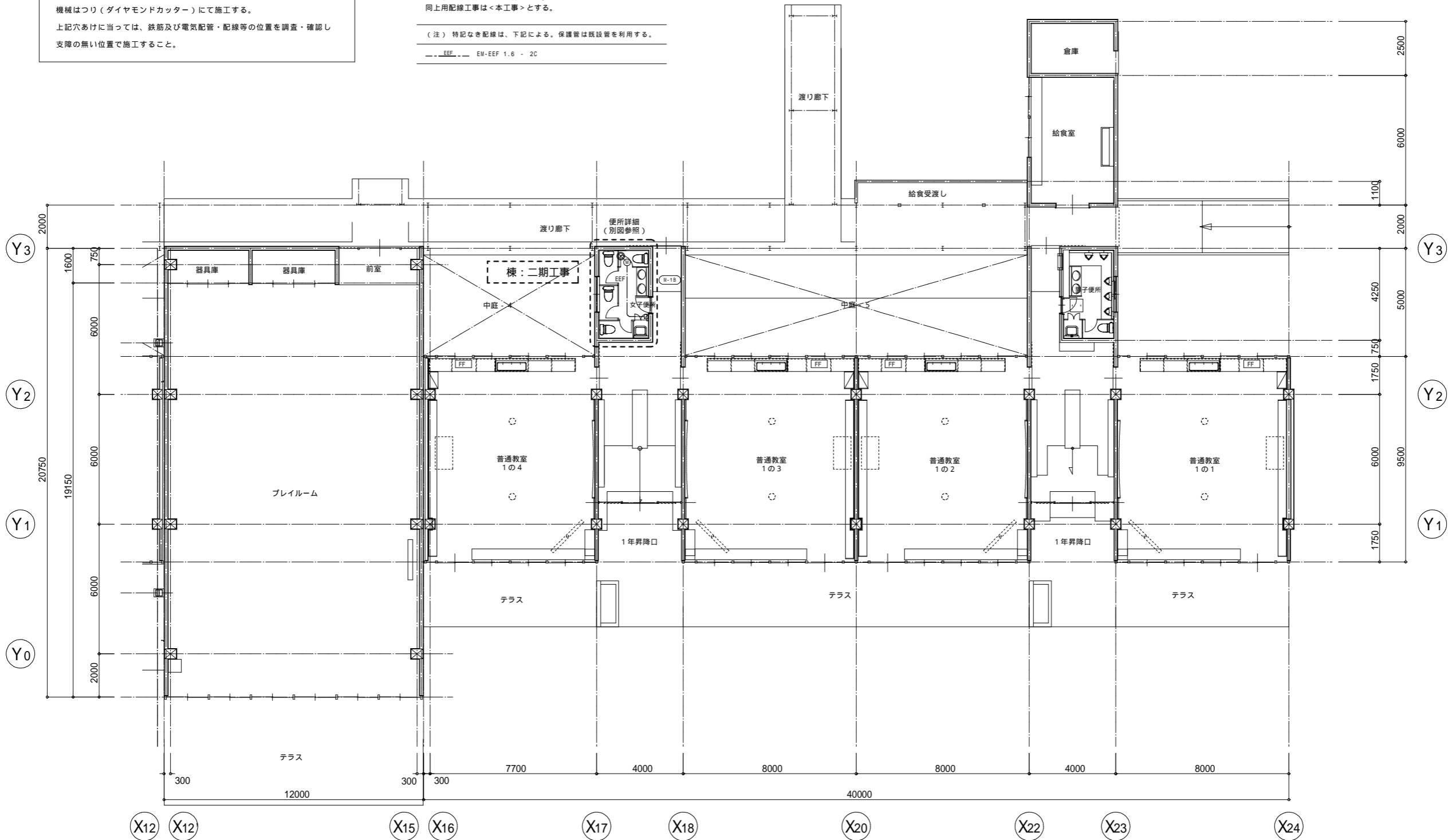
既設管種は下記に準ずる、点線部は既設のまま

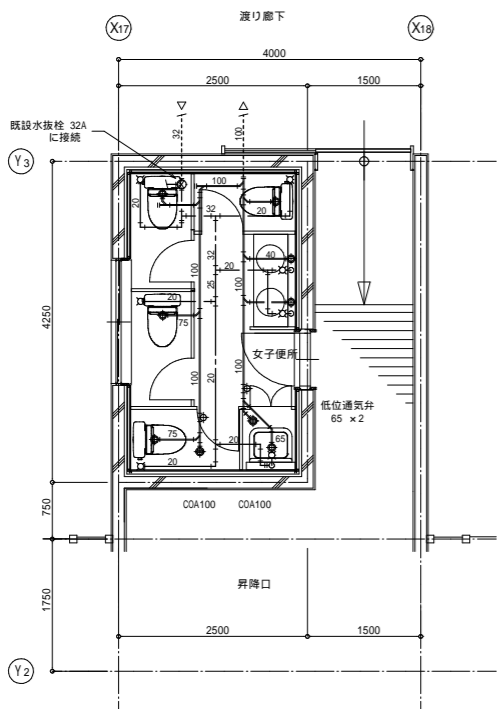
記 号	名 称	（ 適用 ）	仕 様	
	給 水 管	屋 外 埋 設	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 HI
		水 抜 栓 以 降 土中及び土間	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116 VD
		屋 内 ー 般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116 VB
	給 湯 管	送 り	給湯用塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140 HVA
	屋 外 排 水 管	一 般 合 流	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 VU
		ビツト内・土間 （第1樹まで）	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 VP
	屋 内 排 水 管	屋 内 ー 般	耐火被覆硬質塩化ビニル管（VP）	国交省・消防庁認定品
		ビツト内・土間	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 VP
	通 気 管	屋 内 ー 般	耐火被覆硬質塩化ビニル管（VP）	国交省・消防庁認定品
		屋 内 ー 般	配管用炭素鋼鋼管（白）	JIS G 3452
	ガ ス 管	屋 内 ー 般	配管用炭素鋼鋼管（白）	JIS G 3452
	油 管 ・ 送 り	屋 外 ・ 屋 内	配管用炭素鋼鋼管（白・ネジ接合）	JIS G 3452
	油 管 ・ 返 り	屋 外 ・ 屋 内	配管用炭素鋼鋼管（白・ネジ接合）	JIS G 3452
	冷 媒 管	送 り ・ 返 り	冷媒用被覆断熱鋼管	
	ド レ ン 管	エ ア コ ン 用	結露防止層付硬質塩化ビニル管	A C ドレンパイプ相当品
			断熱付ドレンホース	
	円 形 ダ ク ト	スパイラルダクト	亜鉛鉄板製	
	ダ ン パ		V D：風量調整ダンパ F D：防火ダンパ F V D：防火風量調整ダンパ	
	仕 切 弁	水 道 直 結	青銅製コア付・鋳鉄ライニング	JIS 10K
		水 系	青銅製コア付・鋳鉄ライニング	JIS 5K
		油 系 統	マレプル弁	
	バ タ フ ラ イ 弁	水 系	ウェハ－形ゴムシートバタフライ弁	JIS 10K
	逆 止 弁	水 系	青銅製コア付	JIS 10K
	ボ ー ル 弁	油 系 統	青銅製	
	防 振 継 手	ポン プ 廻 り	合成ゴム製 玉形	
	可 と う 継 手	ー 般	ベローズ型	長さは共通仕様書による
		タン ク 廻 り	合成ゴム製	長さは共通仕様書による
	排 水 樹	インバ－ト樹	小口径塩ビ樹	蓋は図示による
	排 水 樹	トラ ッ プ 樹	小口径塩ビ樹	蓋は図示による
	ド ア ガ ラ リ		<建築工事>	
	点 検 口	天 井 ・ 床	<建築工事>	
	蒸 気 管 ・ 送 り	屋 内 ー 般	配管用炭素鋼鋼管（黒・ネジ接合）	JIS G 3452
	蒸 気 管 ・ 返 り	屋 内 ー 般	配管用炭素鋼鋼管（黒・ネジ接合）	

特記事項（改修工事・本図範囲）

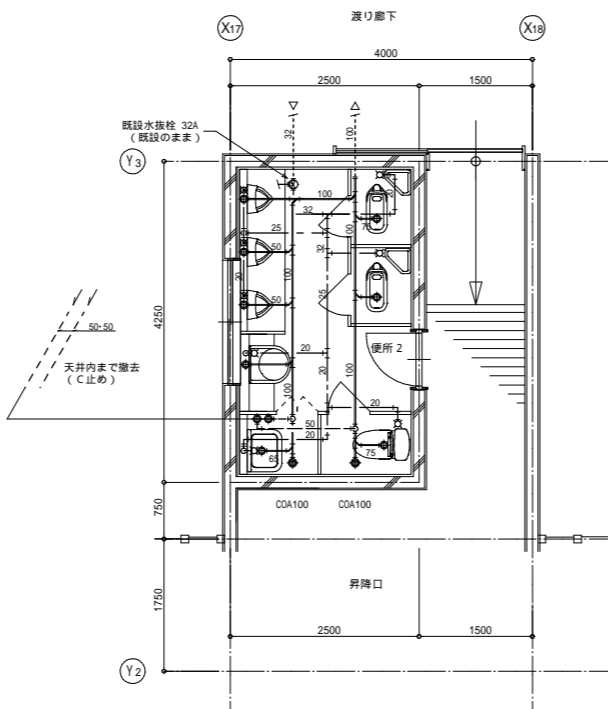
- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を新設する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用する配管又は残置する配管を示す。（特記部分共）
- ・本工事の施工時期は、建物の使用になるべく支障が無いように、断水等の時期は長期休み及び土日等とし、学校側・関係業者と十分協議して計画する。
- ・改修工事に伴う床・壁等の貫通部の穴開けは全て＜本工事＞とし機械はつり（ダイヤモンドカッター）にて施工する。
- 上記穴あけに当たっては、鉄筋及び電気配管・配線等の位置を調査・確認し支障の無い位置で施工すること。

電動水抜栓リスト				
記 号	口 径	系 統 名	操 作 盤	備 考
M・1 B	32 A	女子便所系統	埋込形 操作数 1 回路	補修プレート共
本図範囲。 水抜栓本体は「既設のまま」とし、 駆動部及び操作盤・配線を更新する。				
全て緊急用手動ハンドル付とする。 同上用配線工事は＜本工事＞とする。				
（ 注 ） 特記なき配線は、下記による。保護管は既設管を利用する。				
--- EEF --- EM・EEF 1.6 - 20				





便所内の各床下配管は<ビット内配管>
1 階（便所 2）便所詳細図（改修） S = 1/50

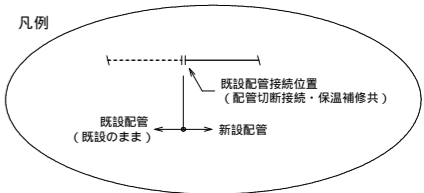


便所内の各床下配管は<ビット内配管>
1 階（便所 2）便所詳細図（撤去） S = 1/50

特記事項（改修工事共通）

- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を新設する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用する配管又は残置する配管を示す。（特記部分共）
- ・改修工事に伴う床・壁等の貫通部の新規穴開けは全て<本工事>とし機械はつり（ダイヤモンドカッター）にて施工する。
- 上記穴あけに当たっては、鉄筋及び電気配管・配線等の位置を調査・確認し支障の無い位置で施工すること。
- ・改修に必要な天井解体及び天井点検口は建築工事に含む。

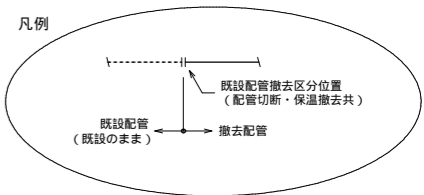
凡例



特記事項（撤去工事共通）

- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・和風大便器のはつり出し、撤去も<本工事>とする。
- ・既設のまま使用する配管及び残置する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。
- ・配管撤去に必要な、床・壁等のはつり工事は全て<本工事>とする。
- ・配管撤去後の不要貫通口（床等）の穴埋めは<本工事>に含む。
- 無収縮モルタル充填。（仕上げ補修は建築工事）
- 和風大便器撤去後のスラブ開口部の補強・穴埋めは<建築工事>とする。
- ・撤去に必要な天井解体及び天井点検口は建築工事に含む。

凡例



特記事項（撤去工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・既設のまま使用する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。
- ・改修後に使用しない配管切断部は、P止め又はC止め処置とする。
- ・本工事の施工時期は、建物の使用になるべく支障が無いように、断水等の時期は長期休み及び土日等とし、学校側・関係業者と十分協議して計画する。

電動水抜栓リスト

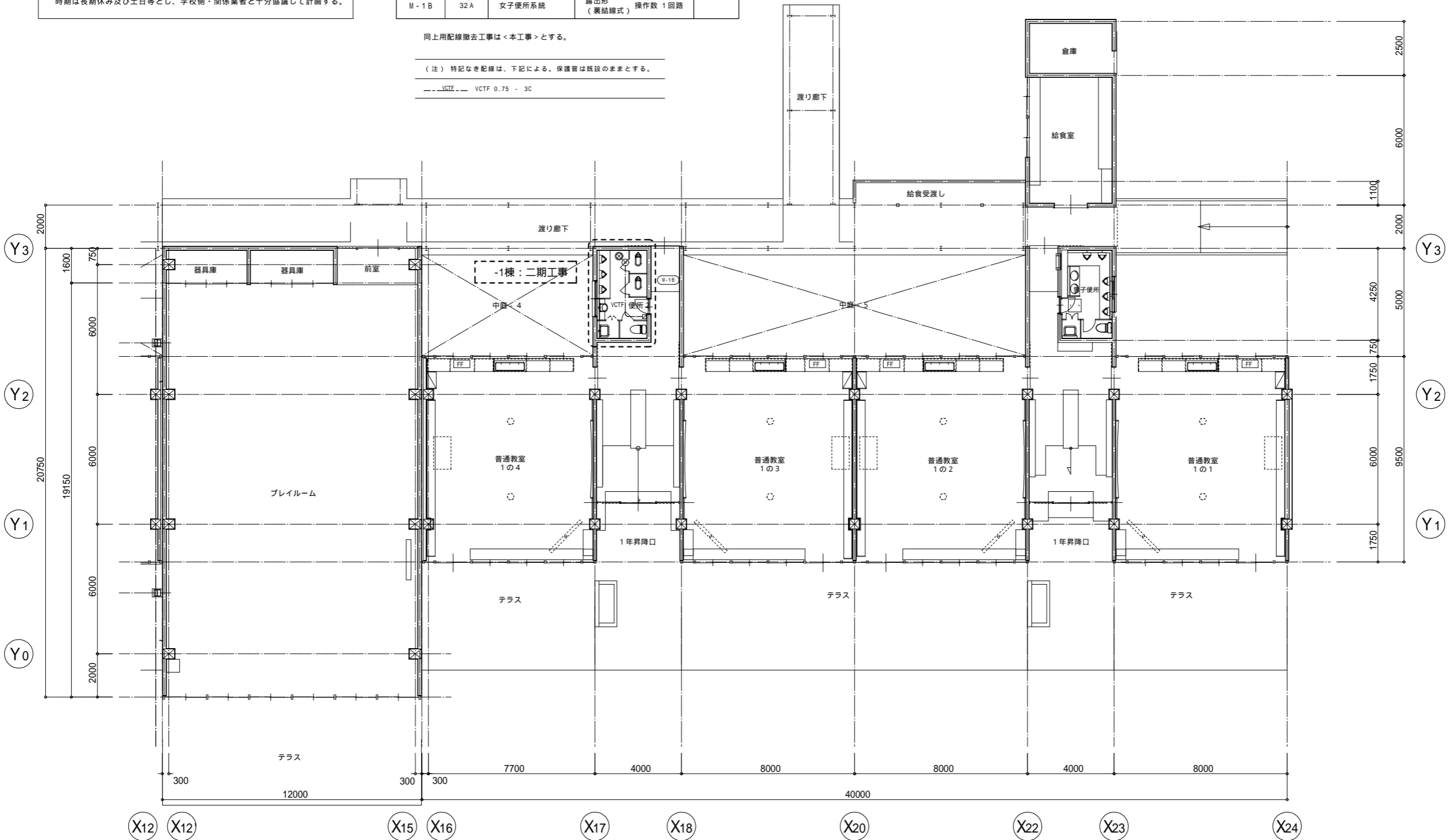
記 号	口 径	系 統 名	操 作 盤	備 考
M-1B	32A	女子便所系統	露出形 （裏結線式）	操作致 1 回路

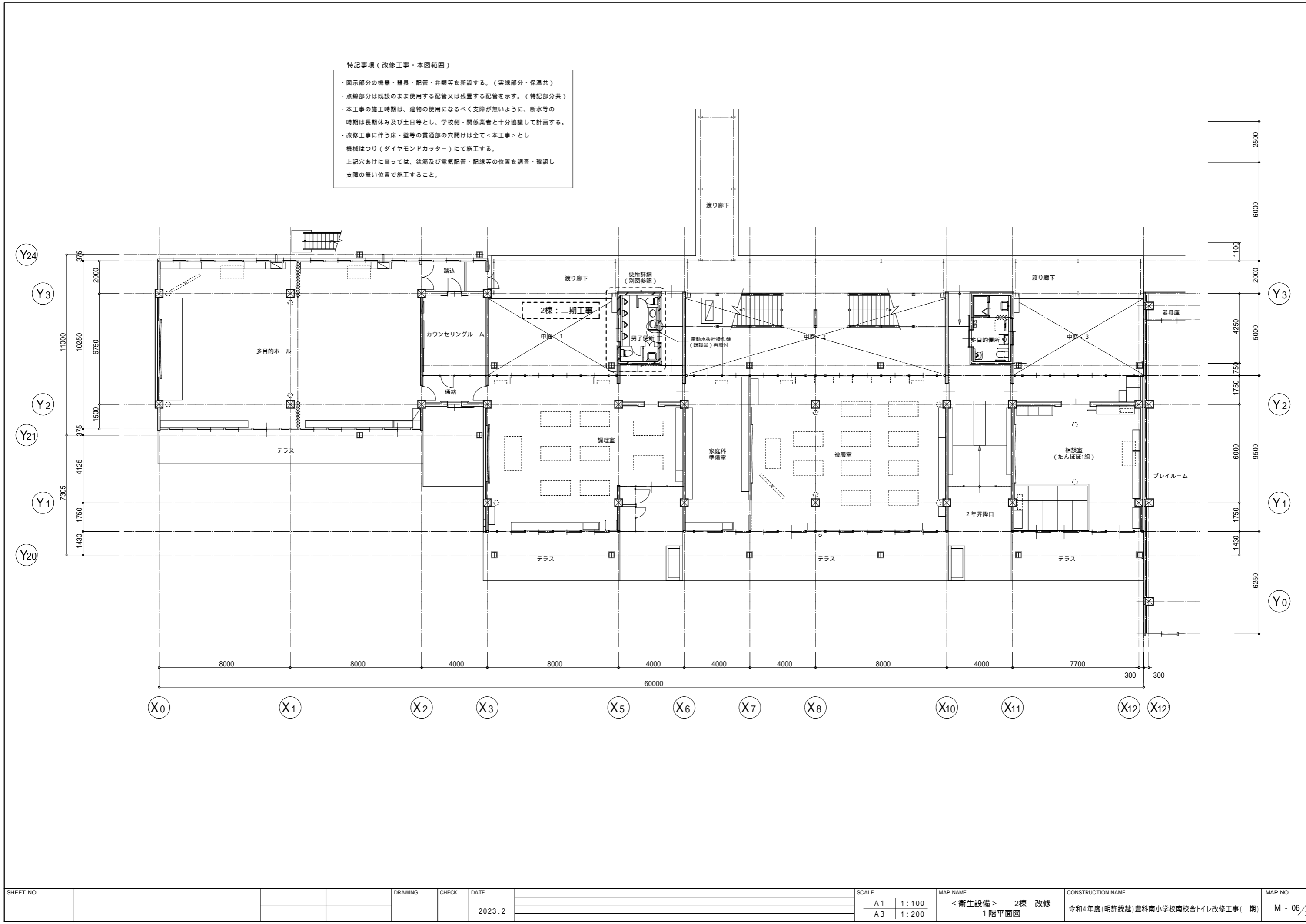
本図範囲。
水抜栓本体は「既設のまま」とし、
駆動部及び操作盤・配線を撤去・処分する。

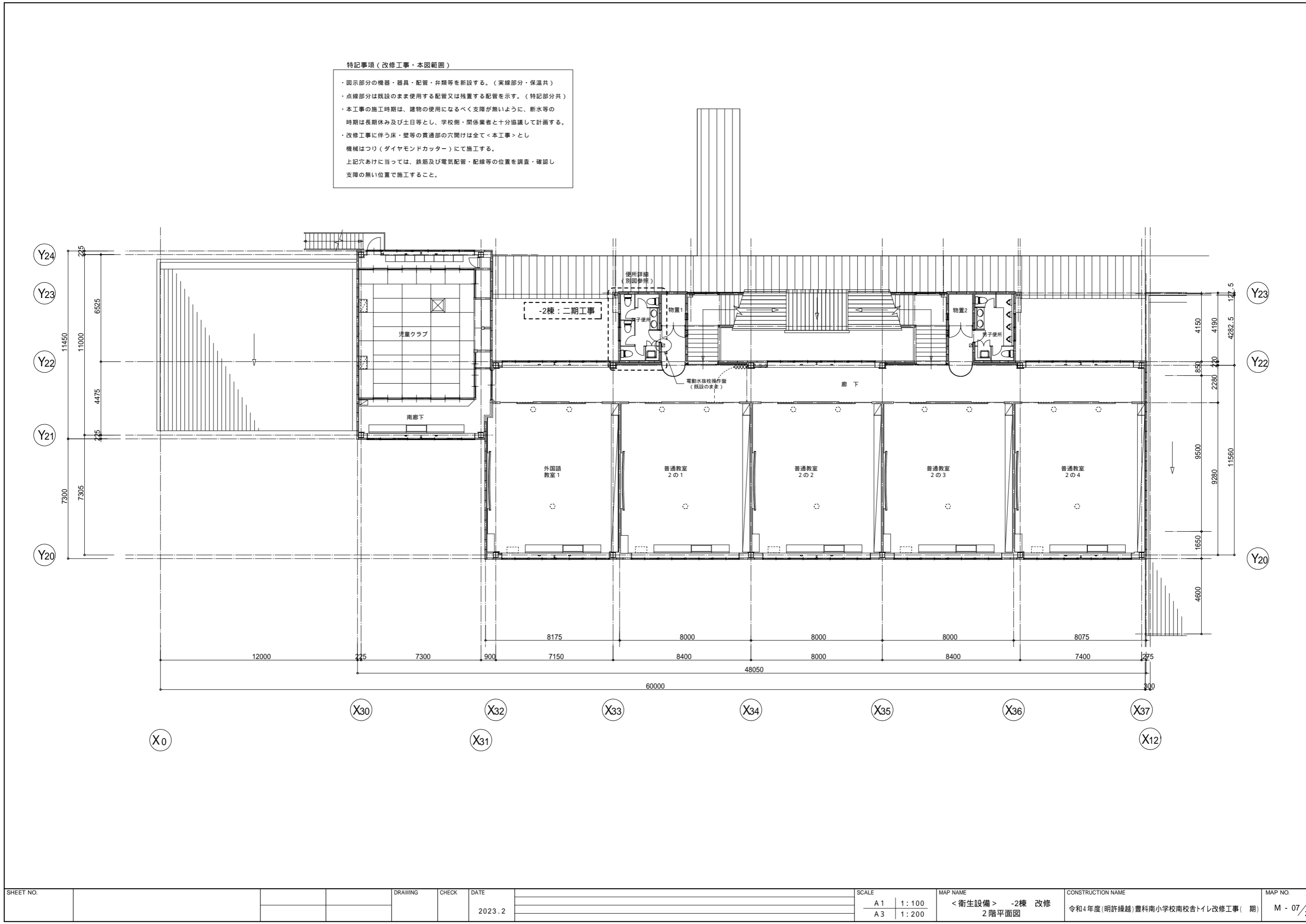
同上用配線撤去工事は<本工事>とする。

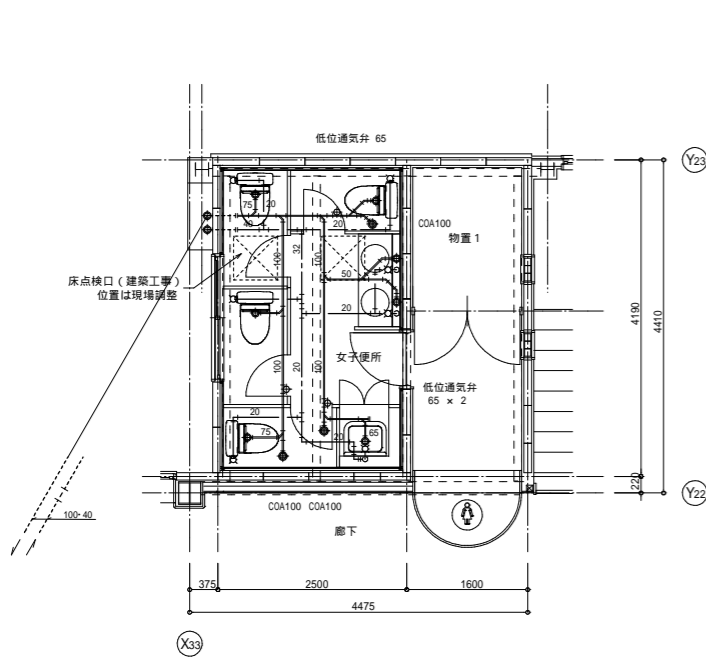
（注）特記なき配線は、下記による。保護管は既設のままとする。

--- VCTF --- VCTF 0.75 - 3C

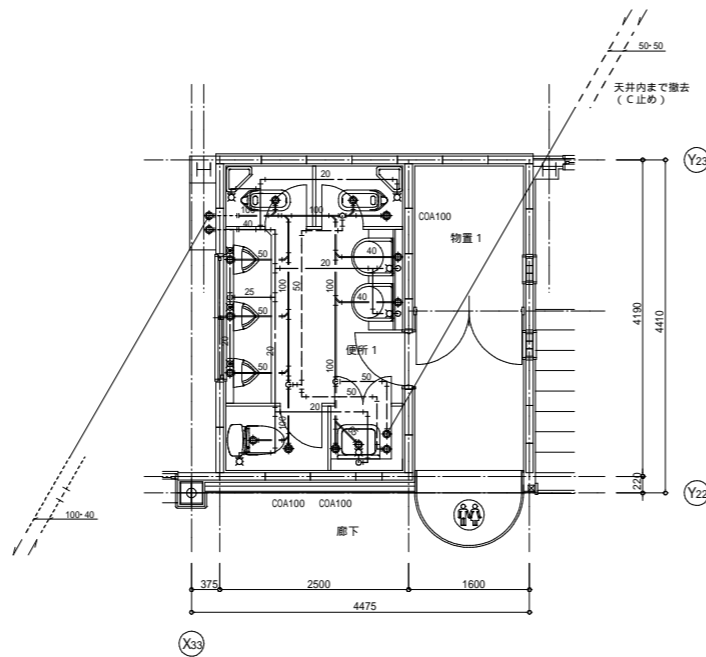




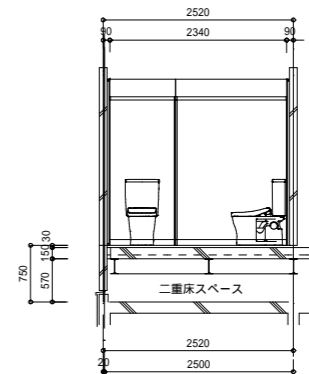




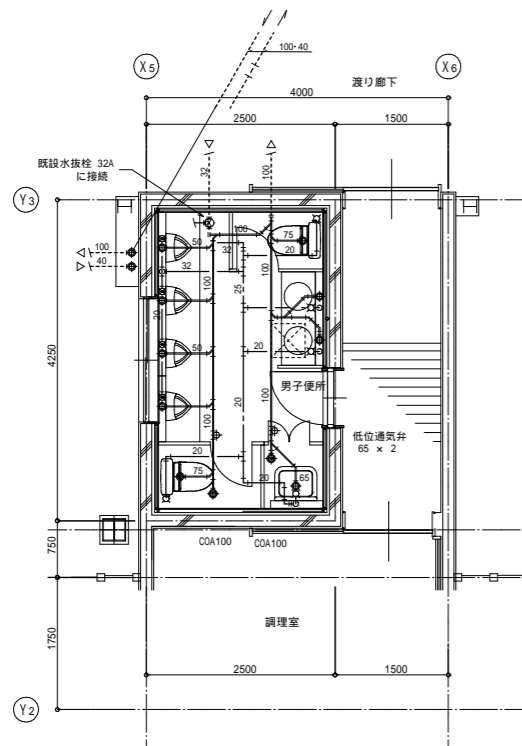
2階（便所1）便所詳細図（改修） S = 1/50



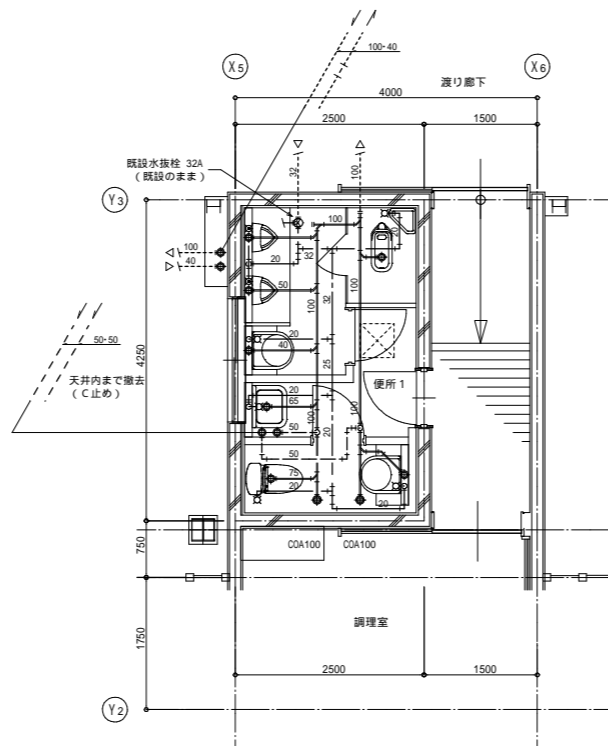
2階（便所1）便所詳細図（撤去） S = 1/50



2階（便所1）便所断面図（参考） NO,S



1階（便所1）便所詳細図（改修） S = 1/50

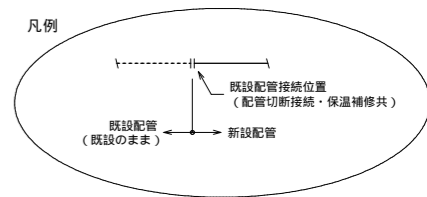


1階（便所1）便所詳細図（撤去） S = 1/50

特記事項（改修工事共通）

- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を新設する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用する配管又は残置する配管を示す。（特記部分共）
- ・改修工事に伴う床・壁等の貫通部の新規穴開けは全て＜本工事＞とし機械はつり（ダイヤモンドカッター）にて施工する。
- 上記穴あけに当っては、鉄筋及び電気配管・配線等の位置を調査・確認し支障の無い位置で施工すること。
- ・梁部分はスラブ内に満はつりにて埋め込む。（プラスチックテープ1/2重ね2回巻）
- ・改修に必要な天井解体及び天井点検口は建築工事に含む。

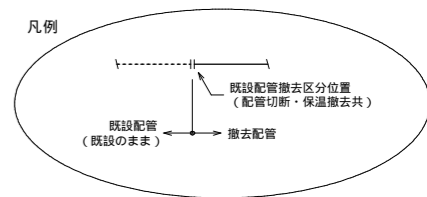
凡例



特記事項（撤去工事共通）

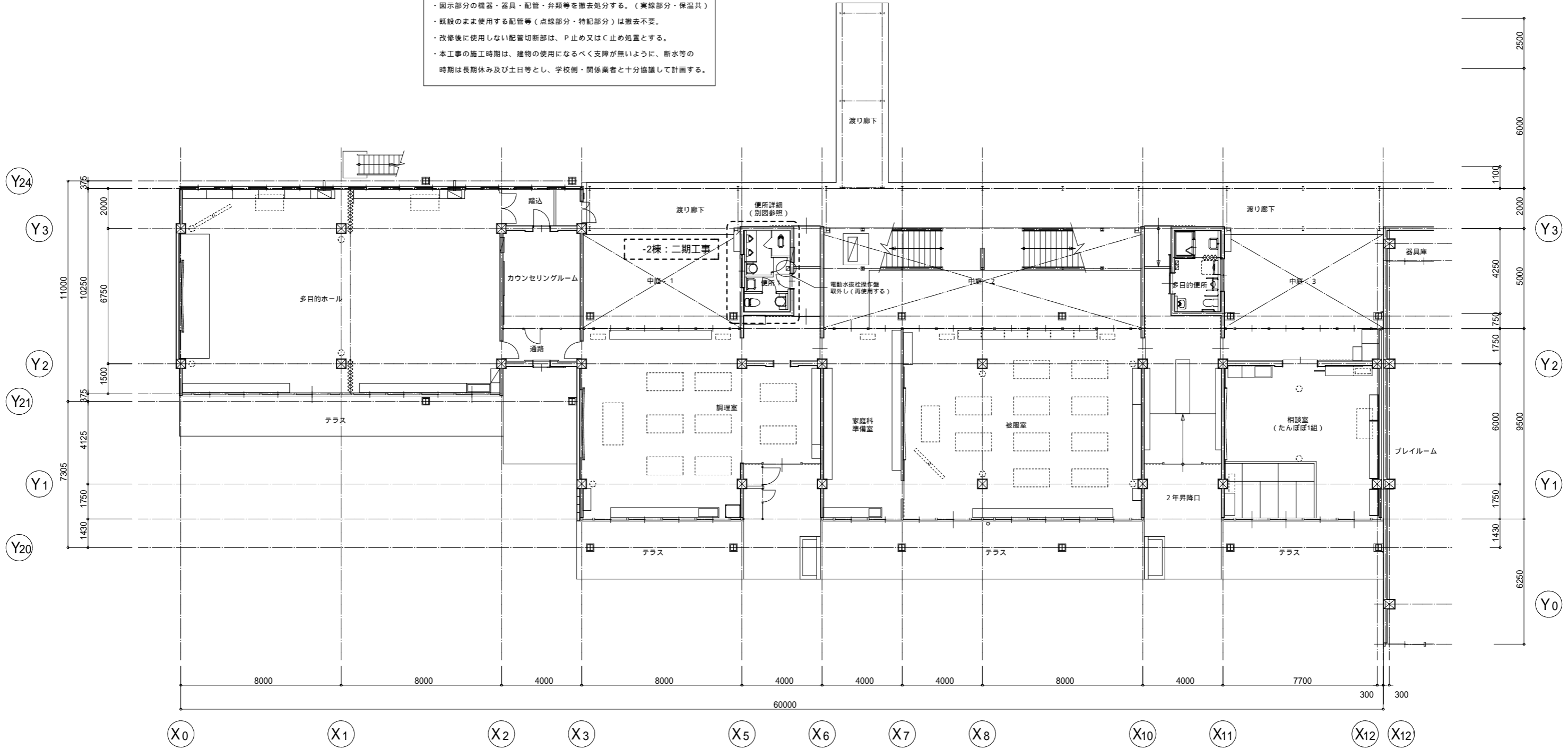
- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・和風大便器のはつり出し、撤去も＜本工事＞とする。
- ・既設のまま使用する配管及び残置する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。
- ・配管撤去に必要な、床・壁等のはつり工事は全て＜本工事＞とする。
- ・配管撤去後の不要貫通口（床等）の穴埋めは＜本工事＞に含む。
- 無収縮モルタル充填。（仕上げ補修は建築工事）
- 和風大便器撤去後のスラブ開口部の補強・穴埋めは＜建築工事＞とする。
- ・撤去に必要な天井解体及び天井点検口は建築工事に含む。

凡例



特記事項（撤去工事・本図範囲）

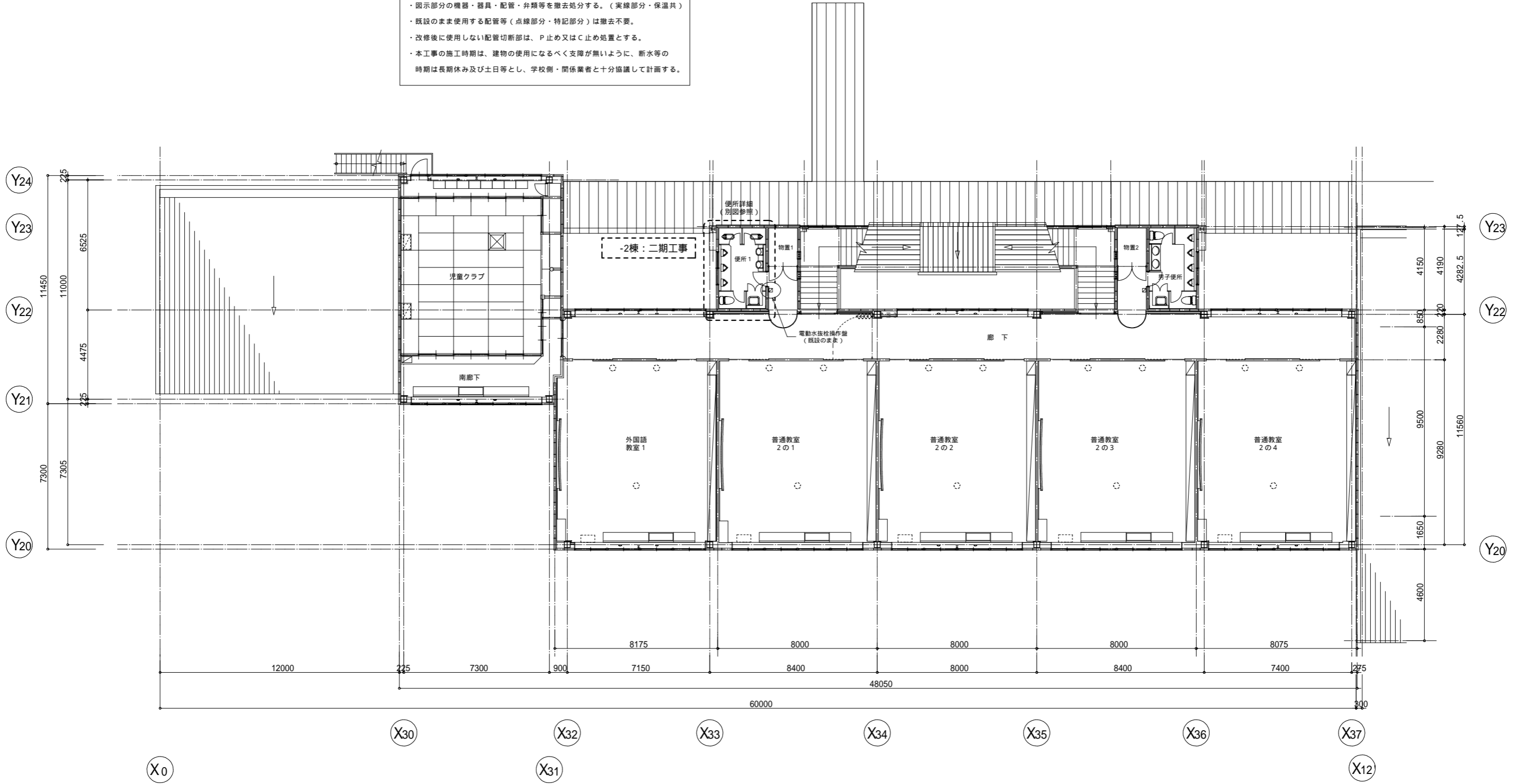
- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・既設のまま使用する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。
- ・改修後に使用しない配管切断部は、P止め又はC止め処置とする。
- ・本工事の施工時期は、建物の使用になるべく支障が無いように、断水等の時期は長期休み及び土日等とし、学校側・関係業者と十分協議して計画する。



SHEET NO.			DRAWING	CHECK	DATE	SCALE	MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
						A 1 1:100 A 3 1:200			
					2023.2		<衛生設備> -2棟 撤去 1階平面図	令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(期)	M - 09/20

特記事項（撤去工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・器具・配管・弁類等を撤去処分する。（実線部分・保温共）
- ・既設のまま使用する配管等（点線部分・特記部分）は撤去不要。
- ・改修後に使用しない配管切断部は、P止め又はC止め処置とする。
- ・本工事の施工時期は、建物の使用になるべく支障が無いように、断水等の時期は長期休み及び土日等とし、学校側・関係業者と十分協議して計画する。




新 設 暖 房 機 器 表

公共建築工事標準仕様書

記 号	名 称	仕 様	電 気 (60Hz)				台 数			備 考
			相	電圧(V)	容 量	備 考	- 1 棟	- 2 棟	合 計	
EH-3	電 気 ヒ ー タ ー	遠赤外線ふく射ヒーター・天井埋込タイプ 暖房能力 1.5 kW デジタル式コントロールスイッチ（センサー内蔵）	1	200	1.5 kW	ヒーター		1	1	配線・SW取付<電気工事> （スイッチ支給）

既 存 暖 房 機 器 表

凡例  取外し・再取付の機器を示す その他の機器は図示による

記 号	名 称	仕 様	電 気 (60Hz)				台 数			備 考
			相	電圧(V)	容 量	備 考	- 1 棟	- 2 棟	合 計	
EH-3	電 気 ヒ ー タ ー	遠赤外線ふく射ヒーター・天井埋込タイプ 暖房能力 1.5 kW					1	1	2	コントロールSW及び配線 <電気工事>
EH-5	電 気 ヒ ー タ ー	壁掛け式パネルヒーター 暖房能力 0.5 kW						2	2	撤去・処分

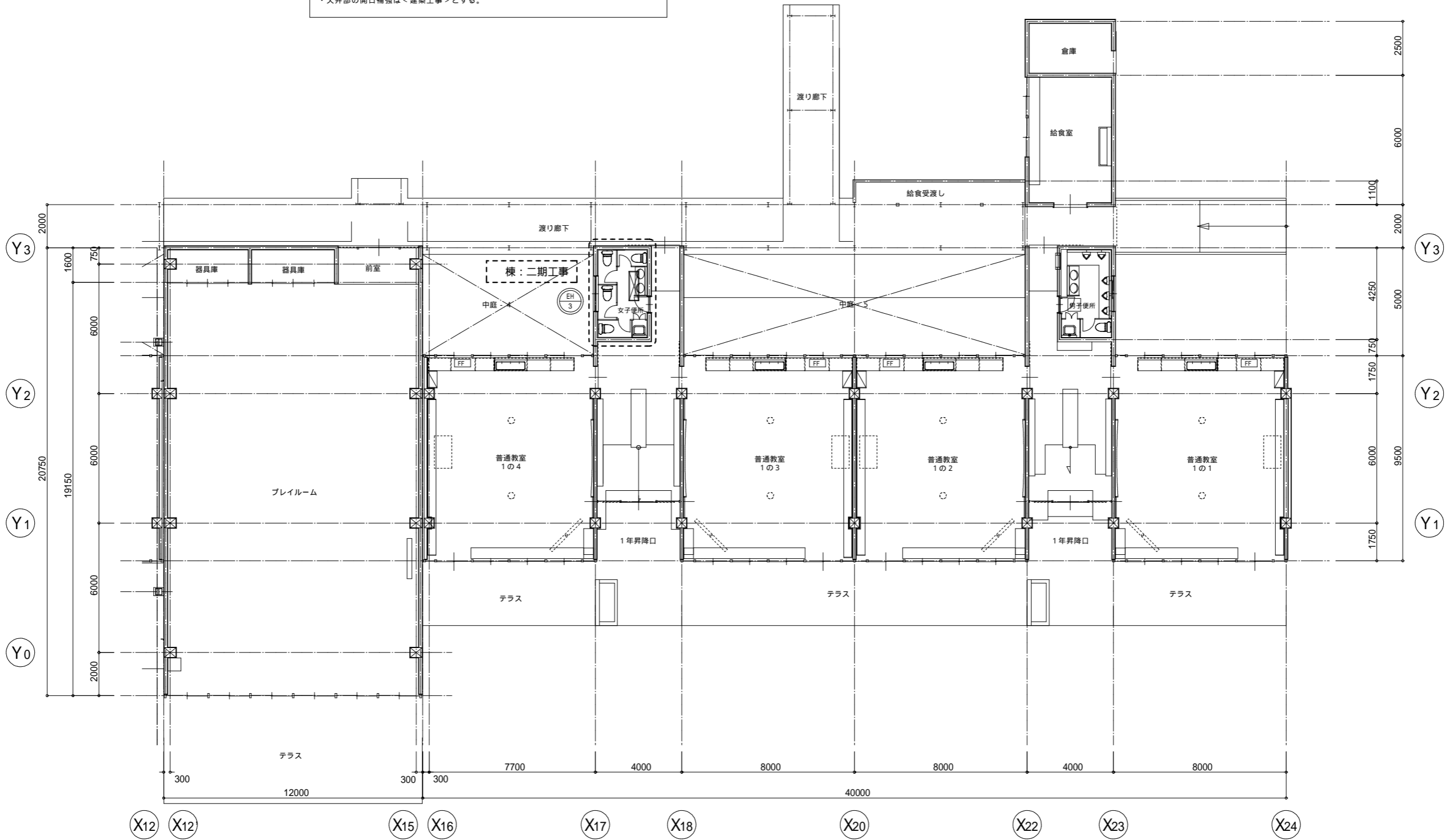
換 気 機 器 表

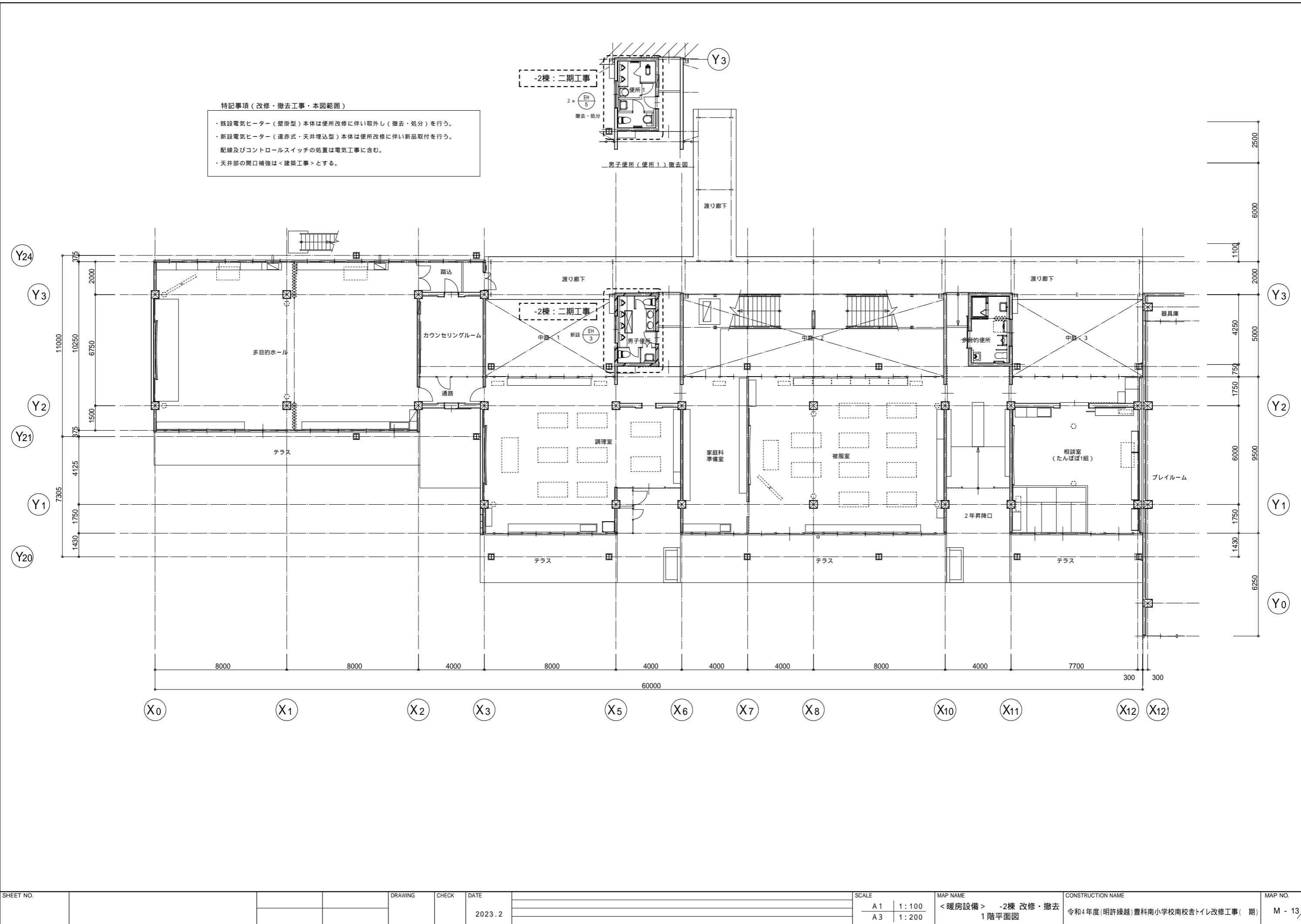
公共建築工事標準仕様書
電気容量は参考とする。 記号は三菱電機の参考品番

記 号	名 称	仕 様	電 気 (60Hz)				台 数			備 考
			相	電圧(V)	容 量	備 考	- 1 棟	- 2 棟	合 計	
FV-1	天 井 埋 込 形 換 気 扇	サンタリー用・プラスチックボディ 150 m3/h × 70 Pa 接続ダクト径 100	1	100	約 23 W	消費電力	1	2	3	人感センサー運転<電気工事> VD-15ZPC12
FV-1	天 井 埋 込 形 換 気 扇	サンタリー用・プラスチックボディ 150 m3/h × 70 Pa 接続ダクト径 100	1	100	約 23 W	消費電力	1	2	3	ON-OFF運転<電気工事> VD-15ZPC12

特記事項（改修・撤去工事・本図範囲）

- ・既設電気ヒーター（遠赤式・天井埋込型）本体は便所改修に伴い取外し、再取付を行う。
配線及びコントロールスイッチの処置は電気工事に含む。
- ・天井部の開口補強は＜建築工事＞とする。

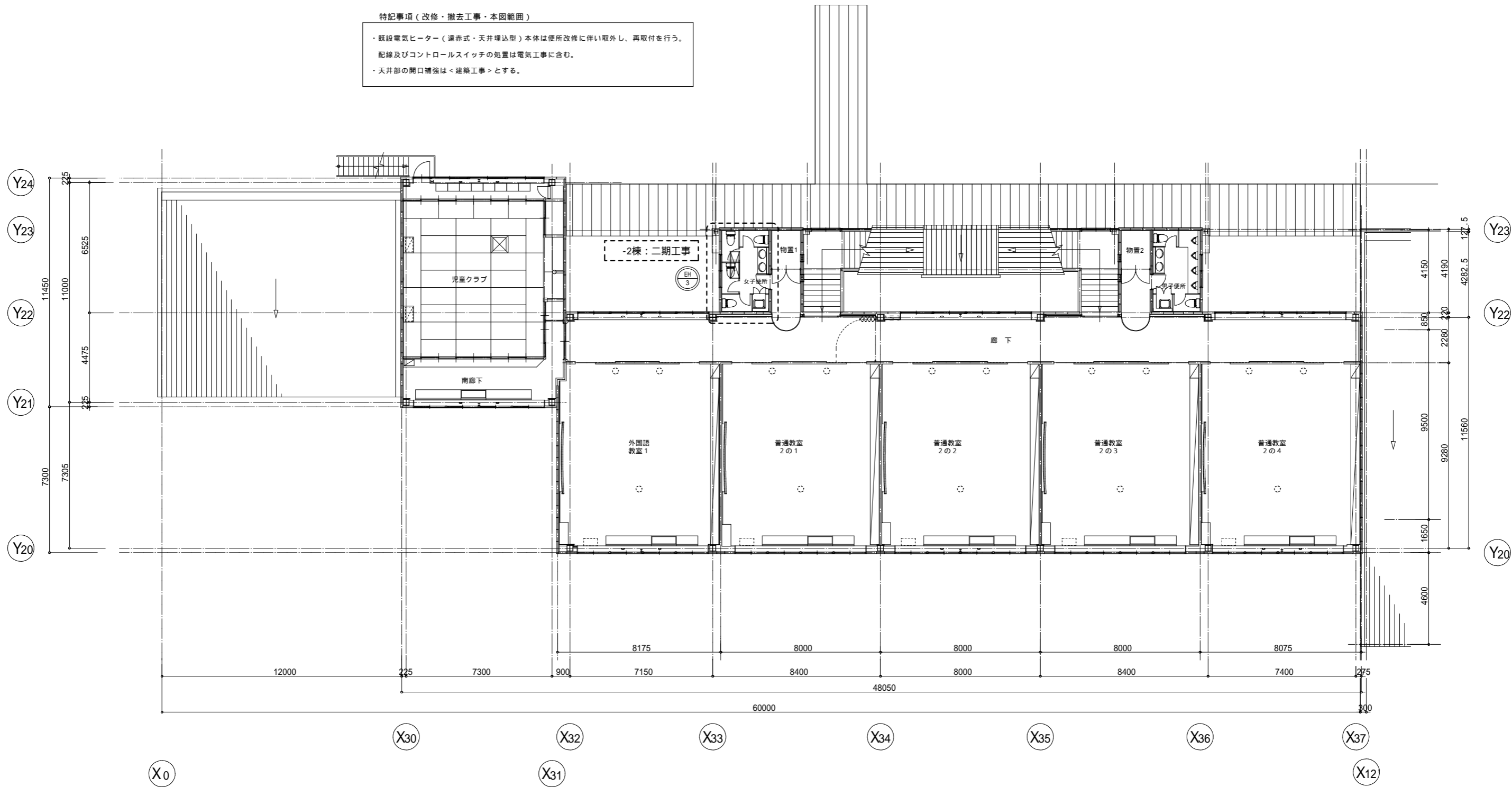


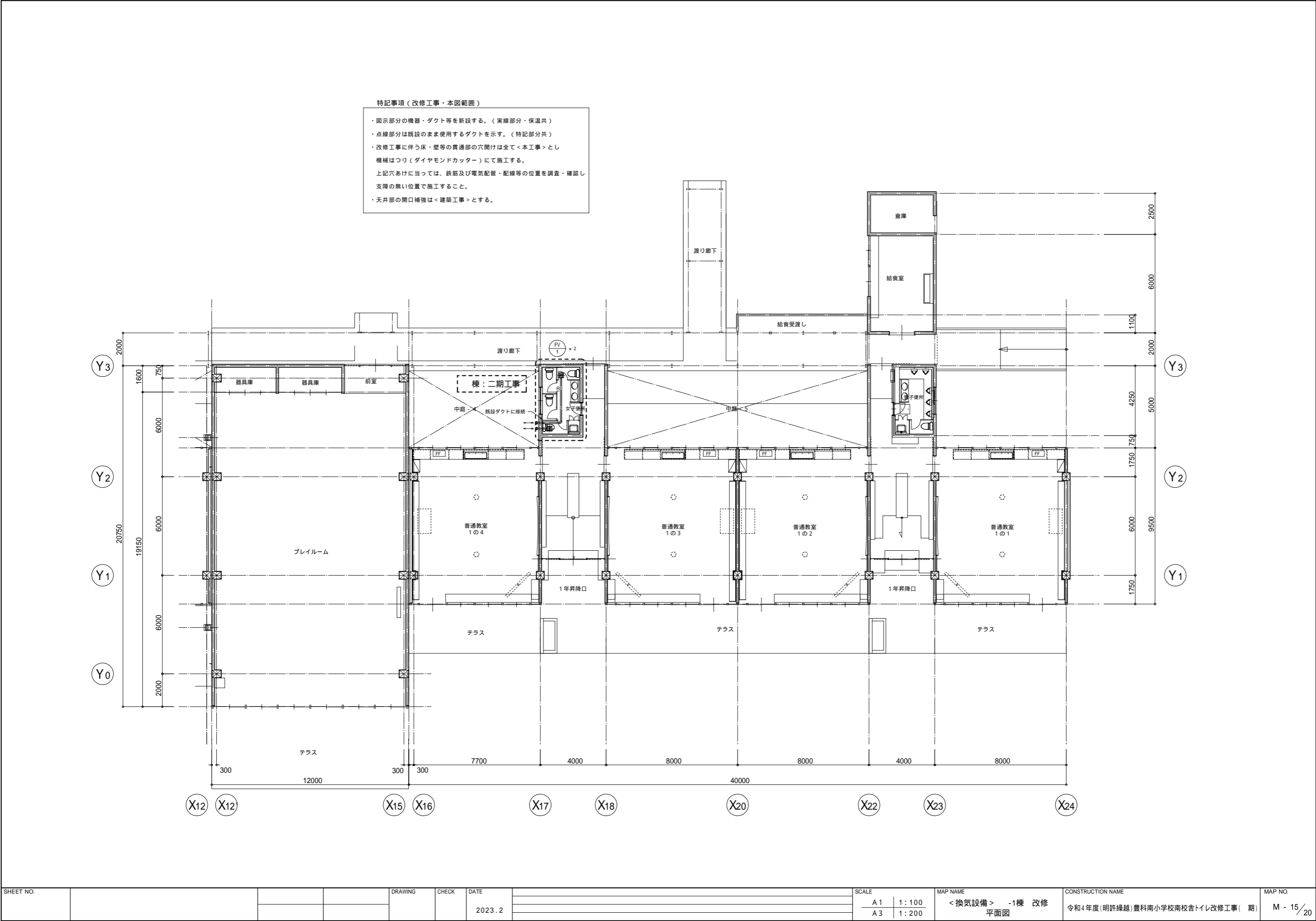


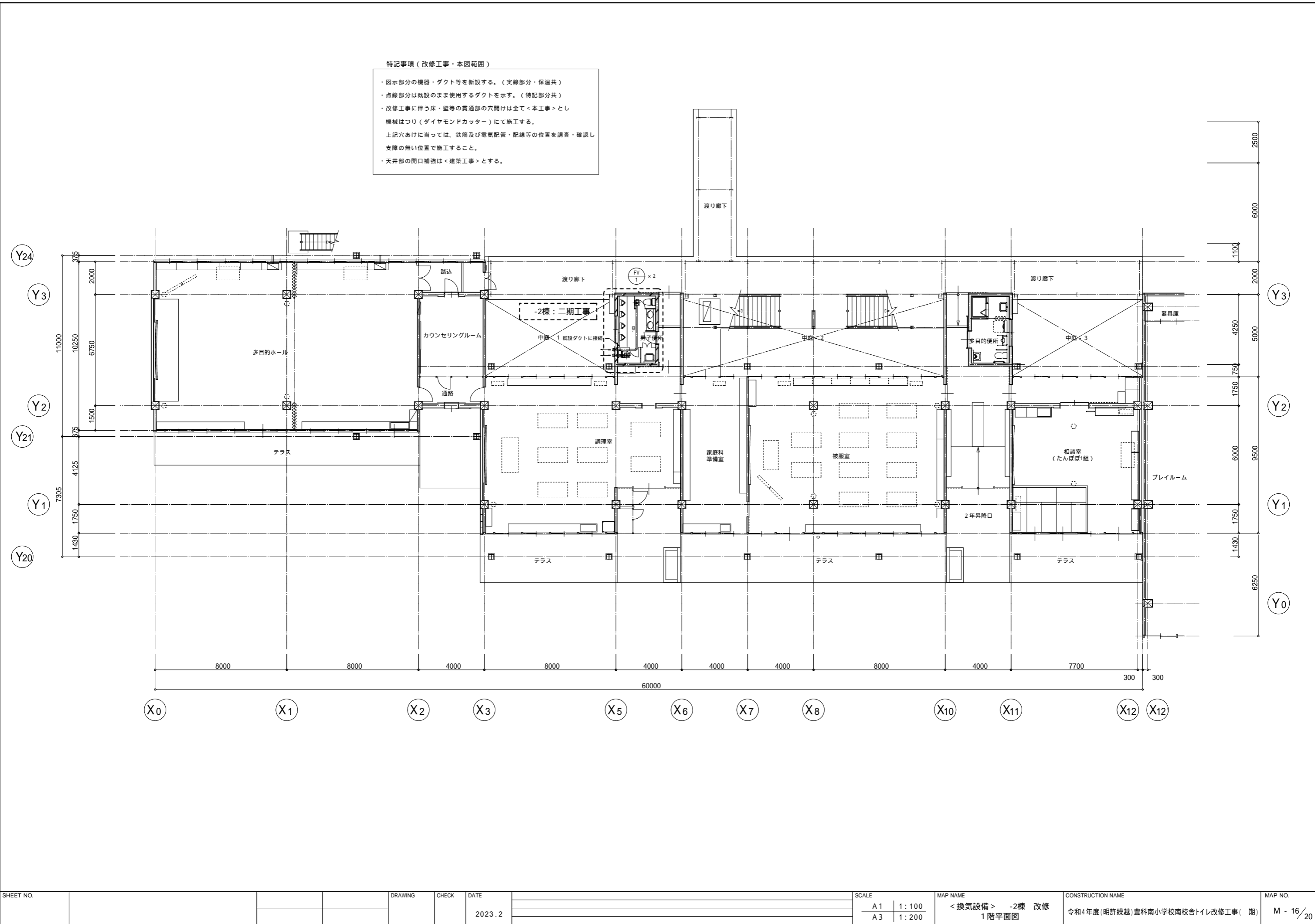
SHEET NO.			DRAWING	CHECK	DATE	SCALE		MAP NAME	CONSTRUCTION NAME	MAP NO.
						A 1	1 : 100			
					2023.2	A 3	1 : 200	<暖房設備> -2棟 改修・撤去 1階平面図	令和4年度(明許繰越)豊科南小学校南校舎トイレ改修工事(期)	M - 13/20

特記事項（改修・撤去工事・本図範囲）

- ・既設電気ヒーター（遠赤式・天井埋込型）本体は便所改修に伴い取外し、再取付を行う。
- ・配線及びコントロールスイッチの処置は電気工事に含む。
- ・天井部の開口補強は＜建築工事＞とする。

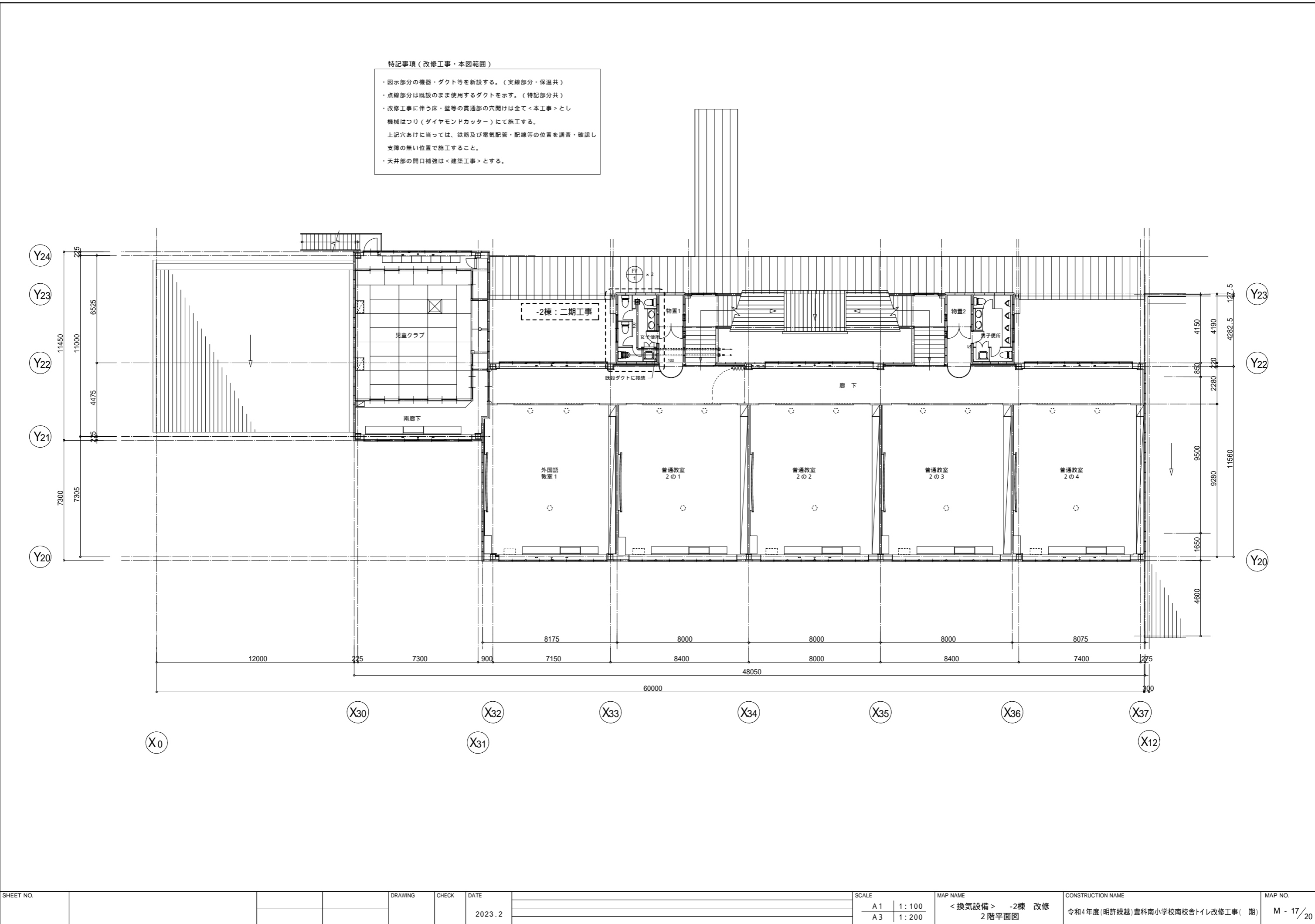






特記事項（改修工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・ダクト等を新設する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用するダクトを示す。（特記部分共）
- ・改修工事に伴う床・壁等の貫通部の穴開けは全て＜本工事＞とし
機械はつり（ダイヤモンドカッター）にて施工する。
上記穴あけに当っては、鉄筋及び電気配管・配線等の位置を調査・確認し
支障の無い位置で施工すること。
- ・天井部の開口補強は＜建築工事＞とする。

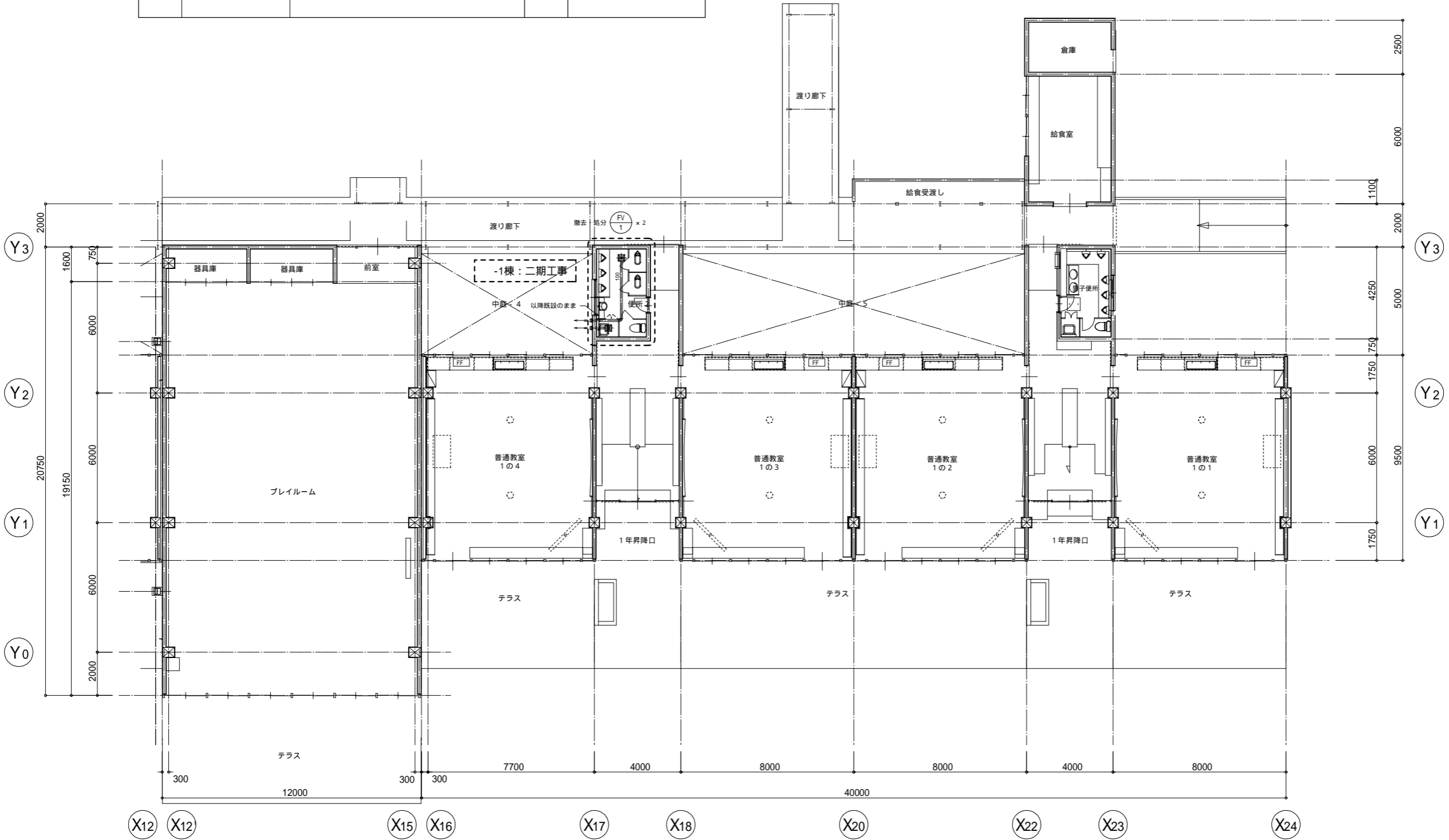


撤去機器リスト 全て撤去・処分（本図範囲）

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
FV-1	天 井 埋 込 形 換 気 扇	接続ダクト径 100	2	撤去・処分

特記事項（撤去工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・ダクト等を撤去、処分する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用するダクトを示す。（特記部分共）

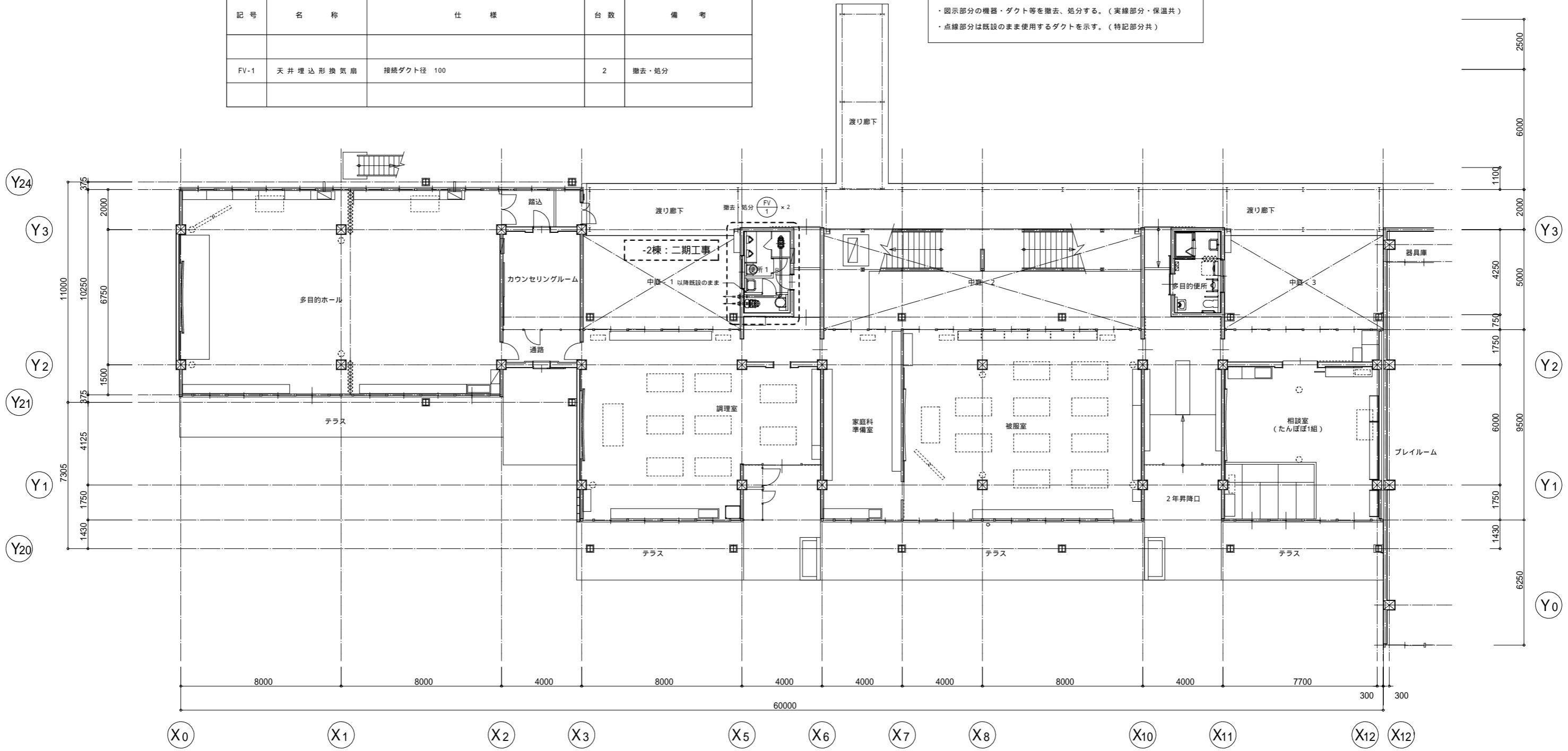


撤去機器リスト 全て撤去・処分（本図範囲）

記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
FV-1	天 井 埋 込 形 換 気 扇	接続ダクト径 100	2	撤去・処分

特記事項（撤去工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・ダクト等を撤去、処分する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用するダクトを示す。（特記部分共）



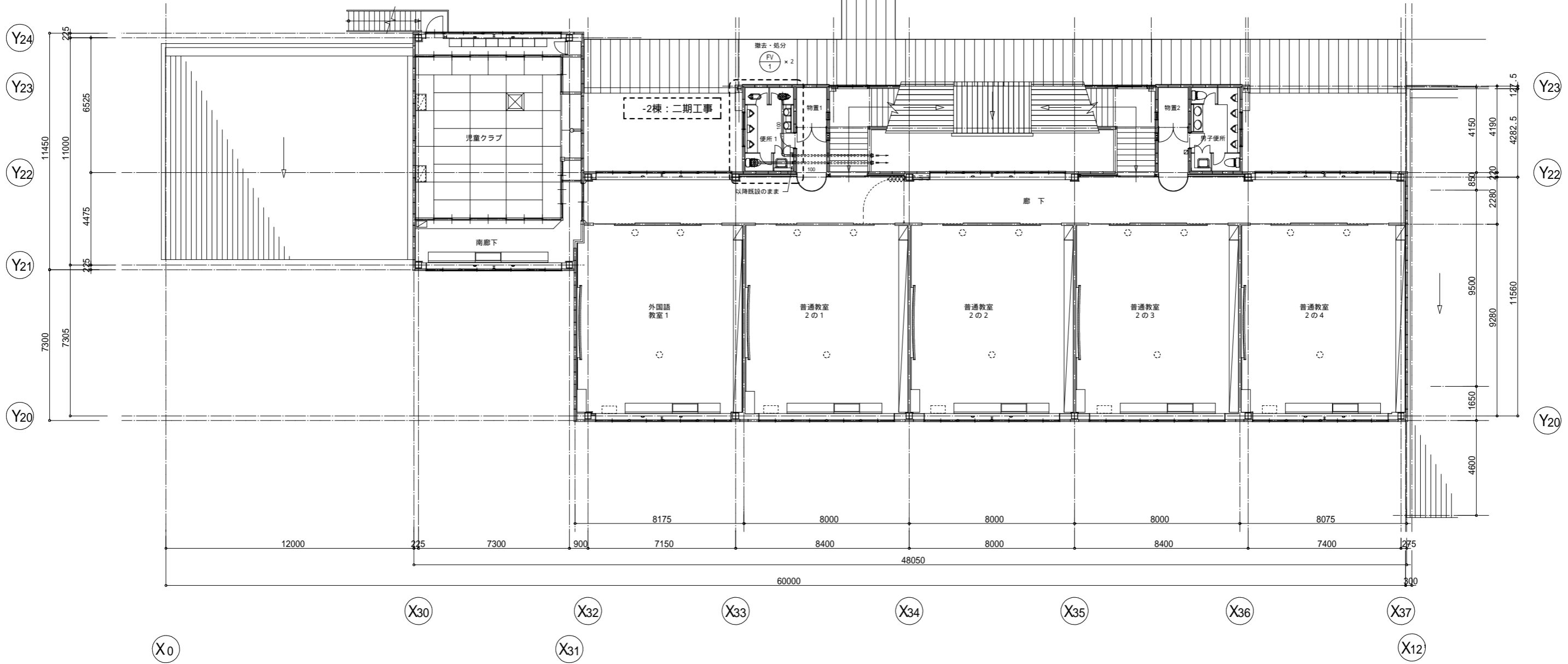
撤去機器リスト

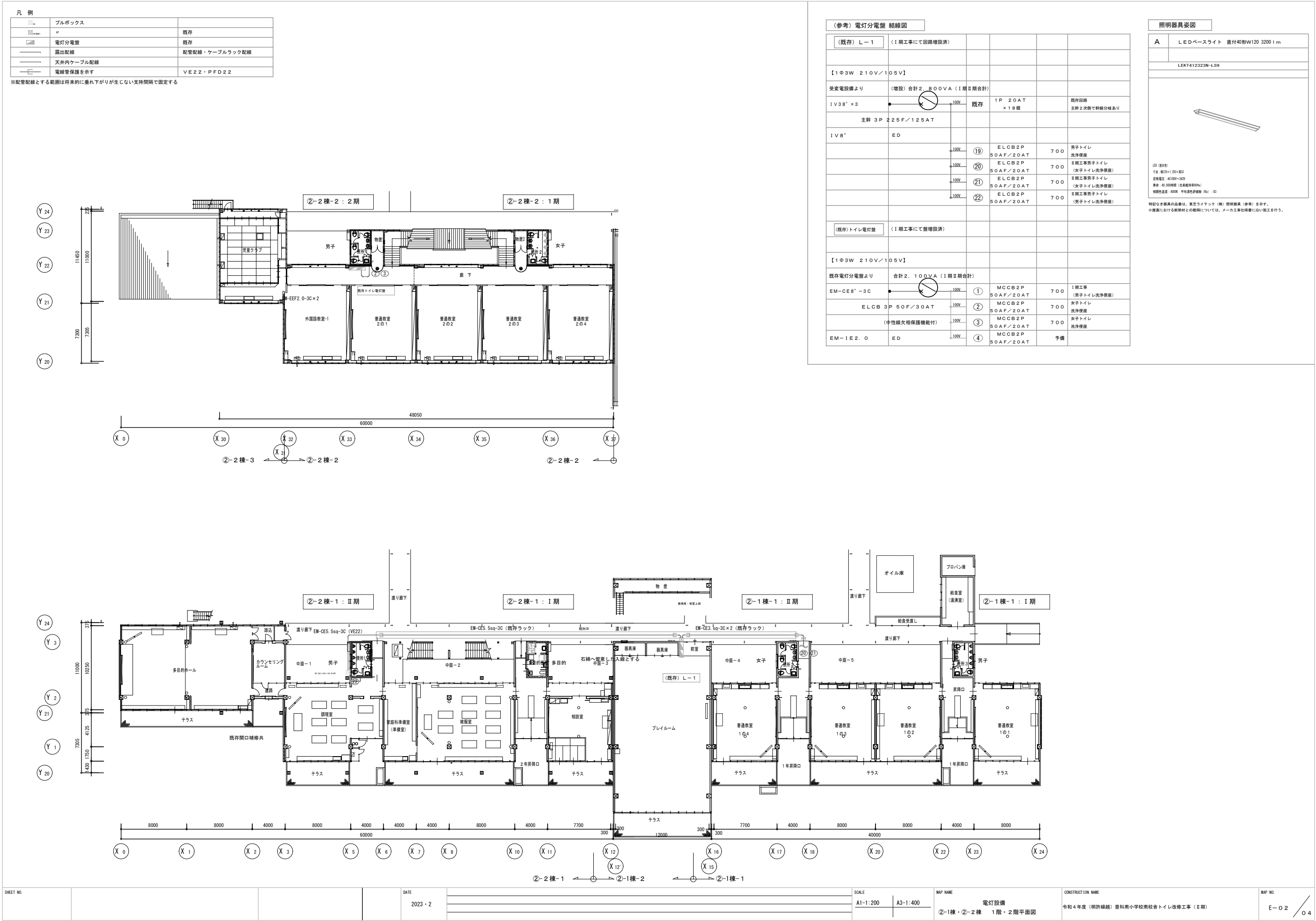
全て撤去・処分（本図範囲）

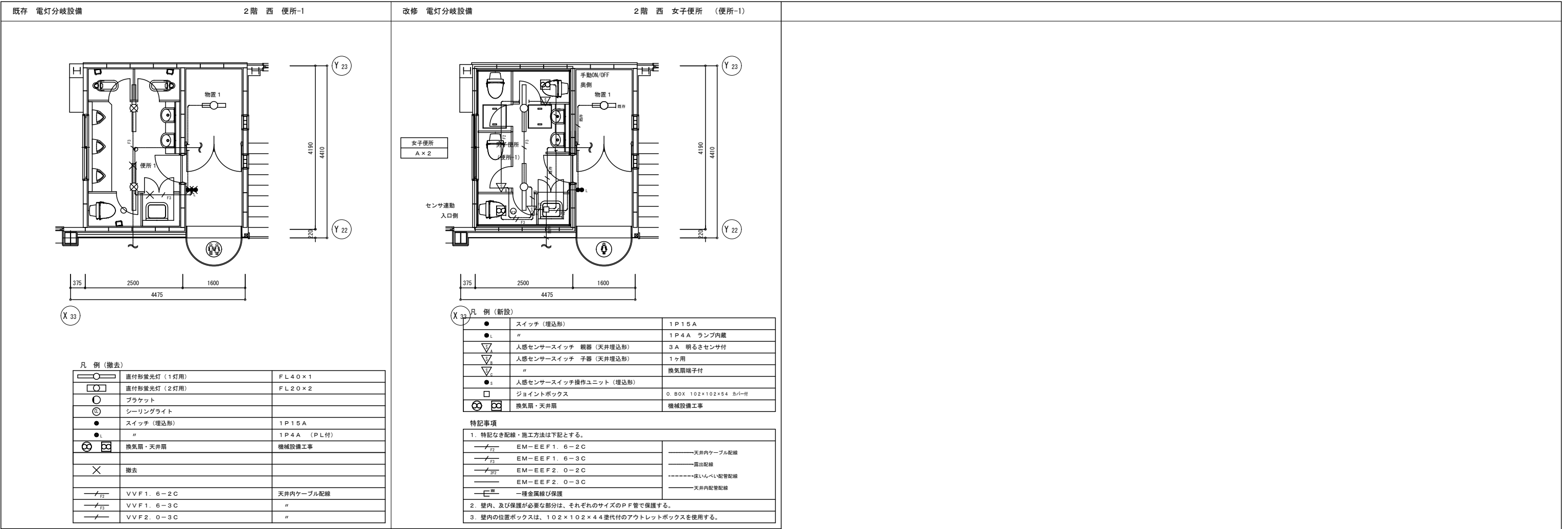
記 号	名 称	仕 様	台 数	備 考
FV-1	天井埋込形換気扇	接続ダクト径 100	2	撤去・処分

特記事項（撤去工事・本図範囲）

- ・図示部分の機器・ダクト等を撤去、処分する。（実線部分・保温共）
- ・点線部分は既設のまま使用するダクトを示す。（特記部分共）

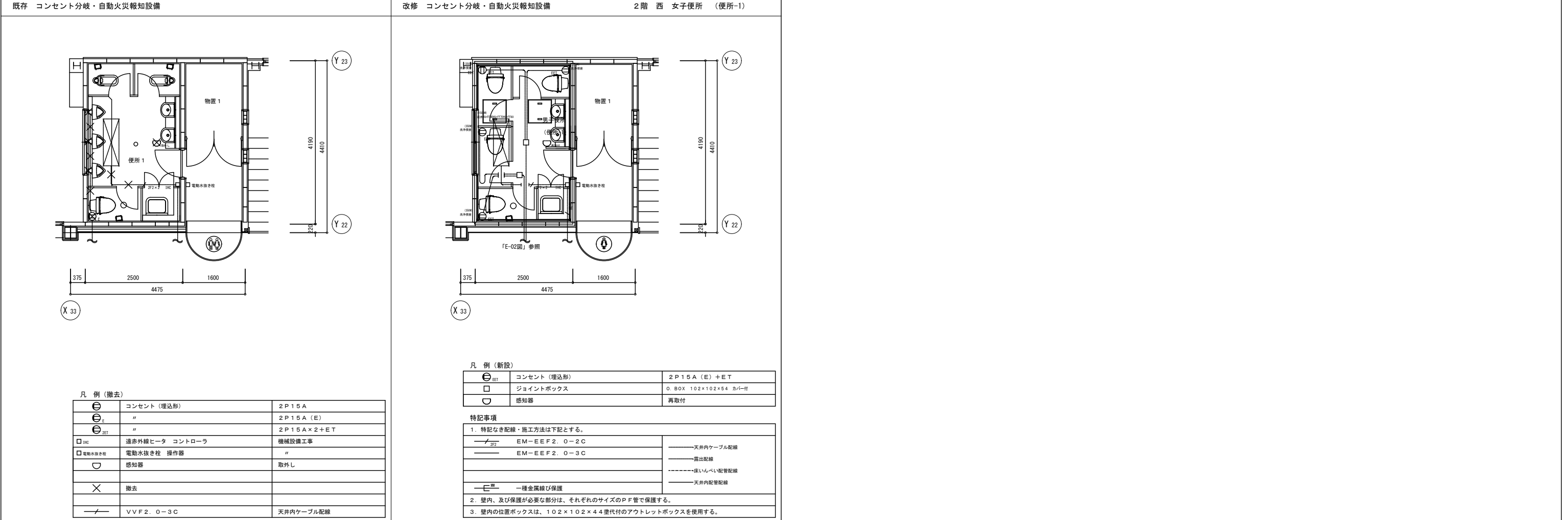






2. 壁内、及び保護が必要な部分は、それぞれのサイズのP F管で保護する。

3. 壁内の位置ボックスは、102×102×44 差代付のアウトレットボックスを使用する。



2. 壁内、及び保護が必要な部分は、それぞれのサイズのP F管で保護する。

3. 壁内の位置ボックスは、102×102×44 差代付のアウトレットボックスを使用する。